

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-98)、廃棄物管理施設(73)、MOX燃料加工施設(2-58))」
2. 日時：令和5年9月14日(木) 13時30分～16時15分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大岡主任安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、山口係員
日本原燃株式会社
再処理事業部 新基準設計部 部長 他4名
5. 要旨
 - (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年9月13日の提出資料に基づき、溢水及び化学薬品の漏えいによる損傷の防止に係る対応方針について確認を行った。
 - (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
 - ・申請対象設備の分類及び構造設計等の説明のために整理しておくべき事項について、先行しているMOX施設での閉じ込めに係る設備での対応や並行して進めている再処理施設での竜巻防護に係る設備での対応との関連を踏まえて整合のとれた対応方針として再整理する。その中で、共通的な対応として展開する配慮事項は明確にしていく。
6. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
7. その他
提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年9月13日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	お返ししました。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:10	本日はヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設、また、令和5年2月28日に申請があった。
0:00:21	MOX燃料加工施設の設工認申請について、資料も資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:29	山崎規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からコサクを下フジワラ。
0:00:38	ヨコヤマヤマグチ。
0:00:41	その他寝るから、
0:00:43	タジリオノ以上になります。それでは日本原燃の方からまずは出席者の紹介をお願いします。
0:00:52	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:55	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:59	Steeringチームより、
0:01:01	タカヤ、
0:01:03	イシハラ。
0:01:05	あとサポートメンバーといたしまして、なかなか、
0:01:09	加えて事務局の方参加させていただいてございます。以上です。
0:01:15	成長山内です。一応確認
0:01:17	なんですけども、
0:01:19	あとSA関係は、Steeringチームの、今はイシハラさんですかね、適宜回答さ、ISA関係も確認できればと思うのですね、イシハラさんの方でということでもよろしかったでしょうか。
0:01:35	はい、泉谷でございます。はい。大丈夫です。
0:01:38	はい、わかりました。
0:01:41	それでは
0:01:44	9月13日に提出があった対応方針について、
0:01:49	そこはヒアリングで確認できればと思うので、ちょっとまず原燃からの説明をお願いしたいんですけども、その際には
0:01:59	先日は9月11日のヒアリングを踏まえてどういう整理をしたかも含めてご説明いただければと思います。お願いします。

0:02:09	はい。日本原燃の高谷でございます。本日ご説明する資料は、9月、先ほどありました9月8日に提出した、水等の損傷防止に係る対応方針、
0:02:22	それを踏まえて10、5月11日のヒアリングを踏まえて、
0:02:26	原燃側で修正をしまして9月修正し9月13日に再提出した対応方針につきまして、ご説明させていただきます。
0:02:36	衛藤順番ですが本本日、目的は言わずもがなですが原燃の方で検討すべき事項を整理しまして対応方針としてまとめております。
0:02:47	その中で進め方の方向性、論点っていうところがずれてないかということの認識をうさせていただきたいと思いますと考えております。
0:02:55	衛藤。まず、9月11日を踏まえて9月13日に再提出資料で動向をどう変えたかということを中心にご説明をさせていただきたいと思います。
0:03:07	まず、資料1ページ目以後、でございます。対応方針の基本事項につきましてはですね泊ステアリングゾーンの調整を行いまして、対応方針の基本事項という形で今後も
0:03:21	この4項目につきまして、を中心に念頭に置いて対応方針をまとめたいというふうに考えております。
0:03:29	中身の話になりますが、対応方針といたしまして一つ目に共通時の作業を進めるための整理事項。
0:03:37	ところで三本柱を挙げております。そのうち一つ目が設計説明分類説明グループ、代表として説明する設備、あとは一つ、もう一つが、DBとSAの関係、また資料234の展開というところで1項目を出しております。
0:03:53	2項目目が個別の説明という形になります。
0:03:57	その中で1.1、説明分類説明グループの頭の設定と代表というところで、水側でやるタスクというところにつきましては、共通12の方です。決められた設計説明分類グループに基づいて、
0:04:12	代表する設備というところを具体的な説明すべき事項設計項目から抽出してどのように設定するかというところを検討していきたいというものでございます。
0:04:22	まだこれについては今整理中というところで今後お示ししたいというふうに考えています。
0:04:29	1.2につきましては、DBとSAの差分というか整理というところを、ご説明をさせていただきたいと思います。

0:04:39	現時点ではですね竜巻でも同様な整理が行っておりまして、その整理に合わせてですね資料に展開しようというふうに思っております。
0:04:49	その中でDBとSAでの検討しなければならない、水側ですねしなければならないところとしては、議事震度 1.2Ssでの水源A水路溢水区画、経路というところの設定と、
0:05:03	あと大きく変わるところは評価が変わる、燃料損失損傷防止の 40 条S Aの扱いというところが大きく異なりますここも整理した上で、どのように共通中に反映していくかというところをご説明をさせていただければなというふうに思っております。
0:05:18	0234 っていうのはこれは過去の
0:05:22	これまでのヒアリングを踏まえて、我々側の対応方針を具体的に書いてあるものでございます。
0:05:29	続きまして 2 ページ目をご覧ください。
0:05:35	1.3 というところでこの共通 12 の資料 234 の関連の整理というところを、一番から 11 番まで示しております。
0:05:45	をもちょうとなりますのは 1 番目というところになります。そこにつきましては大きく変わっておりませんがそこに紐つくものとして、ニイツ、2 番から 11 番というところを、個別の
0:05:59	課題論点というところを整理しております。そこに対して、市共通順位資料でどこで説明をするかっていうところを、一つずつ記載しております。
0:06:10	後程ありますが、具体的に、次、共通中に入る前にですね、次、認識共有したいものというところにつきましては、他の+との関連性というところで、所スタッフ。
0:06:23	1 から 5 というところでまとめております。
0:06:26	これは後程別紙で整理をしておりますがそこについては、10 月の下旬、10 月中にご説明をさせていただきたいなというところの内容でございます。
0:06:41	3 ページ、4 ページ目をご覧ください。2 ページ目、個別での対応方針というところで、今後共通住民以外にもですね申請書の記載、あとは、論点とすべきところがあると思いますので、
0:06:53	そこはまず発電炉の比較というところも含めてですね原燃社内の方で、各条 00 の方を整理をするとともに、そこは
0:07:05	共通主義のヒアリングに向けてそういう準備、整理をしていきたいというところでございます。

0:07:11	で、5 ページ目以降につきましては個別タスクというところで 5 項目、挙げておりますが、それについては別途ご説明をさせていただきたいなと。で、
0:07:21	ナンバー6 番に関しましては、これ載せてしまってわかりにくしてるんですが備忘として、各 00 とか、申請書の記載とかそういうところで、忘れてはいけない備忘というところで、6 番というところを残しているというものでございます。
0:07:36	本日野瀬、資料につきましては以上でございます。
0:07:41	はい。
0:07:41	規制庁はヤマグチです。
0:07:43	まずこの対応方針の全体的なところから確認したいんですけども、
0:07:49	全体のこの
0:07:51	整理とし、枠としては、
0:07:55	ナンバーワンD共通 12 の前に、
0:08:01	整理することとして、三本柱っていうことで、
0:08:05	1Day第二グループの設定にDBSAの整理、3 で、設計と評価の仕分けの整理っていうことでさっき説明があったと理解してますんで、
0:08:16	あわせてその共通順位の前にやることとして、
0:08:22	5 ページ目から始まる個別タスクっていうところで、これも 1、一つ、
0:08:27	この各項目も今日ツジの前に、
0:08:32	方針っていうところは、具体は共通 10 年の中で展開するとしても、どういう考えで進めていってかかっていうところは、ちょっと先に、
0:08:40	説明をしたいっていうことでまとめられてると理解したんですけども。藤堂。
0:08:47	ちょっと
0:08:49	何ですかね、目的、そのそれぞれの到達の目的っていうところが、
0:08:56	この資料だとちょっと若干読めなくなってる場所もあって、と同日に提出された竜巻の対応方針だと、項目分けた上で、それぞれまず目的っていうのを、
0:09:10	と書いてあって、その中でも、さらに整理するべき項目っていうのがあれば
0:09:17	括弧、
0:09:18	みたいので、分けてその上でそれぞれの対応矢印で整理してると思うんですけども溢水の方は、

0:09:27	何か急に矢印だけで始まっている項目とかがあったり、ちょっとその辺、そういう、
0:09:34	かけ方が不明なところがあって目的とその中でやる整理すべき事項を、それぞれに対する具体的な対応っていうのをわかるようにちょっと整理を、
0:09:45	していただきたいと思うんですけどもいかがでしょうか。
0:09:50	はい。日本原燃の高谷でございます。はい。
0:09:54	土田。まず承知いたしましたの目的、成立すべき事項等整理します。こちらの方竜巻側との調整をしながらも、はい。そこまでの計画に合わせられなかったというところで、速やかに修正をしたいというふうに考えております。以上でございます。
0:10:12	すいません規制庁コサクですけど。
0:10:15	速やかに修正ってことだったんですけど。
0:10:18	まだ共通 12 の対応方針見せていただいてないので、
0:10:24	それを踏まえて竜巻溢水だと思うんで、
0:10:28	今の段階で溢水に、竜巻に合わせて共通準じて合うのかっていうのがこちらではよくわからないんですけどそのあたりはどうなってます。
0:10:41	はい、二本木委員。
0:10:48	はい。日本原燃の高谷でございます。
0:10:50	はい。私の方で今、速やかにといったところでまず、竜巻側の整理内容と合わせるというところを第 1 優先に考えていて、すいません中身のところにつきましては、
0:11:02	まだ具体的なものを
0:11:05	頭の整理ができてるわけではないので、検討をしたいなというところの段階でございます。はい。以上でございます。
0:11:12	はい。千原さん。はい、西田でございますすいません私が言った、平仄合わないなるので、全体整理をさせてください。
0:11:22	竜巻っていう目的というのも結局、対応方針そのものをんだと思っているので、こういう、その項目に対してどういう方針で進めていくんだと、いうことがまずちゃんと書けるかっていうことでそれに対して、
0:11:36	細かい作業として備忘録的に置いておかなきゃいけないものを書いてあるんであれば矢印で書いていくに一度基本は頭でちゃんと部、
0:11:48	小項目に分けたとしてもそれぞれのものに対してどう対応するんだという前提である方針がですねしっかり書けることと、いうことが、条件だと思ってますしそういう記載に、

0:12:00	していかないといけないと思っておりますので、それも含めて全体、やるべきことのトーンがまず合うように、
0:12:10	すいません小久保と合わせるように、一緒だったわけではないんですけど、中身が全然合っていないのでそういうことで整理を進めさせていただきたいと思っておりますので、まずは、ちょっと順番があって沿いながらテレコになってしまって今日の夕方、
0:12:26	共通に應對の対応方針出しますので、それも前提に、全体の整理に展開をしていくという形で進めさせていただければと思います。
0:12:39	はい。コサクです。
0:12:41	今日出てくるはずのものを踏まえずに、急いでやるとかっていうふうな言い方をしたのでおかしくないですかということで申し上げました。
0:12:52	今日出すものがどういう状況かによるんですけど、
0:12:56	竜巻のように、目的ってそのあとの具体的作業でまた、
0:13:03	何括弧っていうんですかね。ええ。
0:13:08	筒井。
0:13:09	項目出ししてという。
0:13:12	形で書かれて竜巻もでもそう書いてあるところと書いてないところあるんですけど、
0:13:19	どういう形で、共通 12 を入れてますか。
0:13:23	はい。与儀ニシダでございます。竜巻と形は合ってなくてですねすいません先ほど申し上げたように、竜巻の目的と言っているのがまさしく方針そのものかなというふうにもともと共通情報体は整理していたので、
0:13:39	1.1 とかの項目の中に、サブタイトルで、Pワードが必要であれば小項目を立ててそこで、それぞれに対するの対応方針を書いた上でと。
0:13:52	ということで、特にそれ以上、細かい話の備忘がなければその方針の日を書いて後はどこでどんな具体的な資料に展開していくのかと。
0:14:02	いうところまで紐付けをしていくというところで考えてました。ちょっと竜巻のも見ながら
0:14:12	考えます。はい。あと、今日夕方なんですけどはい。
0:14:16	はい。補足です。今日出てくるものが
0:14:21	本当の完成形じゃなくていいのす。
0:14:24	今日出てきて三つそろった上で、どうしていくかと、いうことをしたの進め方冷やでも話ができたらいんじゃないかなというふうに思います。

0:14:38	括弧目的っていうのは別に書いてなくても、最初に書いてあるのが目的を踏まえた大枠方針ですっていうことで、私も構わないと思うんですけど、一方その下で格好で項目出ししてるものはですね、
0:14:54	わかるようにして欲しいというふうに前回お伝えしたようなことでもあるので、
0:15:01	方針だけでクリアなものはいいんでしょうけど、言われたように、ある程度少し複雑になってて、仕分けなり、明確にした方がいいと。
0:15:12	いうものはある程度こう書いていただいた方がいいのかなというふうに思います。
0:15:18	一方で
0:15:20	今日の溢水の場合は、分割し過ぎ相変わらず分化し過ぎているので、
0:15:27	そういう小見出し的についでということがまずありえない。
0:15:32	よになっちゃってるんですけど。
0:15:34	これも前回話した通りD0で数字書かれアノNo.振られてますけど、
0:15:39	これ一追加途中で入りませんかかっていうのに、こんだけ分けちゃうと絶対間に入ってくるんですよ。
0:15:48	ていうのとても管理できるような対応方針のリストになってないんじゃないかなと思いますけど。
0:15:54	そこは、
0:15:56	どう考えて今こう作業されてるんですか。
0:16:02	はい。日本原燃の高谷でございます。はい。おっしゃる通り、小分けにしてしまうと間に入ってしまうというのはおっしゃる通りかなというふうに思いながらも、今のところは進ん個別、過去の旧南波アノ加古のコメン等、
0:16:18	農作業リストというところに、
0:16:20	引っ張られて明確化するために貢献してしまったというところがございます。今回の整理をもって、きちんとQナンバーというところは削除して
0:16:31	管理すべき項目ごとに合わせるというところで、対応したいというふうに思っております。以上でございます。
0:16:41	規制庁コサクです。前回お伝えをして、対応方針として整理ができたところで繋がりがわかるのでそのゴコウは、特に書かなくていいでしょうというふうに申し上げましたけど、
0:16:55	現時点においてはまだ対応方針整理できてないと思っているので、次消されてしまうと、余計わからなくなるっていうことな気がするので、もう少しまとめ方が落ち着いてからにして欲しいなというふうに思います。

0:17:12	はい、宮城です。高井でございます。承知いたしました。
0:17:21	規制庁ヤマグチです。藤。
0:17:24	それと、今回この対前、前回のヒアリングだったかもしれないんですけどもそれぞれ対応することに関して、共通中の前に、
0:17:36	ちょっと12を展開する前にセル整理すべき事項共通順位の中で担当が確認して対応する事項、あとはいろいろ資料で対応する事項、補足説明資料で対応する事項とかを整理してっていうことはお伝えしたんですけど、
0:17:52	ちょっとそうそういったところが今の記載と明確になってないところがあって何となく雰囲気的には対応予定日の書き方を見て、
0:18:04	何か10月下旬、資料2で調整中小説で、資料34、補足説明資料っていう書き方をしてるような項目は共通順位の中で、確認すべき時、
0:18:17	確認する事項として整理されているのかなと。
0:18:20	何か具体的な日付だけとか、
0:18:26	竜巻調整中とかいうところが共通順位の前に何か個別に説明するために資料を出そうとしてるのかなっていうような、
0:18:37	にも読み取れるんですけども。
0:18:41	そのあたり、いかがでしょうか。
0:18:46	はい。日本原燃の高谷でございます。今おっしゃっていただいた通りで衛藤。
0:18:52	共通中に入る、入った際に説明する内容としては10月下旬調整中調整中と書いているところの項目は、共通事業の中で説明しようというふうに考えていたものでございます。
0:19:05	まず調整中で竜巻防護と一種、整理を踏まえて説明と書いている、BとSAの整理については、そこも竜巻の防護方針に合わせて溢水での同様な整理というのをやろうというふうに考えていたものでございます。
0:19:24	あと、その他でしたら、数ページとして2ページ目、1.3の①というところについては、そもそもこれ、
0:19:35	大項目中項目に分けるべきところなんですけど①番というのは、全体の234をどうやって整理しますかというところのご説明ですので、これは9月中にご説明をしたいなというふうに考えているものでございます。
0:19:48	なので個別の内容等を大枠の内容というところが混在してさせてしまっているというところで混乱をさせたしまったなというふうに反省しております。以上でございます。

0:20:03	今挙げられた衛藤ナンバー1.3-01、2 ページ目の一番上の項目なんですけど、この会方針を読むとその、
0:20:13	ツジの資料への展開的なことしか書かれてなくて共通順位の前にって言うのに結局何を先に出そうとしてるのか、示そうとしてるのかっていうのがわからないんですけども。
0:20:26	この9月下旬っていうのはどういった形で、
0:20:30	資料まとめたものを提示されようと思ってるかとかっていうイメージありますでしょうか。
0:20:36	はい。日本原燃の高谷でございます。この対応方針で詳細を申しますと、基本設計方針の項目ごとにですね、
0:20:47	溢水、溢水等SFの重大事故ですね防護すべき設備というところを対象にして、
0:20:55	表、溢水の基本設計項目ごとに、資料3、4というところを説明すべき項目を展開をしようと、住み分けをしようというふうに考えております。
0:21:06	こちらはそのあとの資料2に繋がるような、性整理というところをご説明する資料だと考えております。以上でございます。
0:21:17	規制庁山口です。でも、今その説明あったように基本設計方針の方から
0:21:25	説明するべき項目っていうのを整理されるってことなんですけど、ディー・ディー・エス、久米一穂として整理されるってことなんですけど、その中作業的には1.2、1点、ナンバー1.2のそのディー・ディー・エス製。
0:21:39	絵の整理と、もうなんか、上流からの整理としては、同じ流れになるところはあると思うんですけど、この
0:21:49	そっちの作業、
0:21:51	イトウアマヤこうして整理は進めて進めて資料としては別で、
0:21:56	説明しようとか、何か菅作業の関連としてはどういう、作業しようとしてるかとかのイメージありますでしょうか。
0:22:08	はい。日本原燃の坂井でございます。おっしゃる通り1.2のDBSAの整理と、1.3-23整理っていうところを同時並行でやっていて、
0:22:19	後で合流をさせようというふうに考え、今私の中で考えていた次第です。特に1.3側の234の整理は、まずはDB溢水のデービーを中心に、
0:22:33	どういったものを34に記載するかというところを整理した上で、関連条文というのを溶け込ませていくというような作業をしようというふうに考えておりました。
0:22:44	以上でございます。

0:22:46	院長山口です。ちょっと、
0:22:49	ちゃんとわからなかったこともあるんですけど、
0:22:52	まずはどちらも起用し、そもそもの要求事項から、どういう設計をするのかってということで基本設計方針、そのそれぞれから説明すべき項目をまず整理するっていうところは、共通してやらないといけないことだとは思うので、
0:23:11	最後にまとめられる。
0:23:15	そのまあいいつつ、ちょっとそのイメージがわからなかったんですけども。
0:23:21	ます。
0:23:24	もう作業は共通的なのでまずはやってってということで、
0:23:34	益子。
0:23:36	やった上で、別々の資料として、
0:23:42	1.3 は評価、設計の仕分けを変えて、
0:23:50	添 2 のDSAの整理は別で、
0:23:53	示すっていう、そういった説明が、
0:23:56	何ですかね、すみません、ちょっともう一度、
0:23:59	説明いただけますか。
0:24:07	はい。日本原燃の高谷でございます。すみません、ご質問の趣旨が間違ってたら申し訳ないんですが、
0:24:13	衛藤。
0:24:14	1 点、おっしゃっていただいた 1.2 のDBSAの整理というのも基本設計方針の事故を基にですね、
0:24:24	0 日、デービーからどのようなSAとして合流させるかというところの整理をしています。ある意味同じ整理をしております、
0:24:34	途中で、
0:24:38	すみません、同時並行で作業をしているというところで、
0:24:43	すみません回答しながらしかイトウの趣旨がわからなくなってしまったんですが、
0:24:51	両方のタスクを同じように進めながら、両方を整理した上でご説明しますということを考えております。
0:25:00	すみません。意味がちょっと待ってください。
0:25:06	規制庁山口です。作業としてはその様なところがあってももちろん変更は別にやる必要もないので作業すると思うんですけど何ですかNo. 1.3 の①とNo. 1.2 の①②として挙げられてるやつが、

0:25:22	例えばこちらに提示する資料としては別々のもので、
0:25:26	何か整理されて、
0:25:28	直近でいつそういうのを出されるのかなっていうことをこちら確認するのかなっていうところを、まずは、
0:25:34	できればと思ったので、
0:25:40	1.2 のナンバー1.2 の方は調整中となってるけど、ナンバー1.3 の①は9月下旬って、もう
0:25:50	水出すし示す日にちを示されてるってことは、別々の資料でそれぞれ決めをしようとしてるっていうことで、
0:25:59	認識しました。それは合ってますでしょうか。
0:26:04	はい、宮野高でございますおっしゃる通りです別々の資料で今出そうと思っておりました。井田、合わせて出した方が良いかということも含めてちょっとはい。頭の整理をさせていただきます。
0:26:14	以上です。
0:26:17	規制庁コサクです。余りに混乱してるのでちょっとここ戸惑ってますけど、
0:26:27	前回話してたはずなんですけど、
0:26:34	ちょっと話を元に戻すとですね。
0:26:37	1.2 とか 1.3 っていうのは、そもそもいきなり出てくるわけじゃなくて、1.1 で言ってるタスクの中に、
0:26:47	こういう項目があると。
0:26:51	単純に言うと資料 123 対、
0:26:54	作っていくときにこういうことを考えながらやっていきますというこういうことと、いうのをちゃんと整理をするというタスクとして、ここ出てきているもの。
0:27:06	いうことであって、共通 12 の対応方針っていうと、これも含めて全体まとまった方針で、前回書かれてって、それを
0:27:17	分割していくっていうことですかっていう。
0:27:22	古藤の話をしてどういう形でもいいんだけど、
0:27:27	その方向性について竜巻溢水、或いは、共通住民との関連性というのを整理をして提示してくださいねと。
0:27:36	お話をしたんですけど、
0:27:38	ここでその 1.11. 2.3 って書いてること自体がもう混乱していて、
0:27:43	1.21. 3 で分けるなら 1.1 ないんですよ。
0:27:47	1.1 でこういうのを書くんだったら 1.2. 3 はこの中にあるんですよ。

0:27:53	どっちつかずだからどうしたいのか全然わからないんですけど。
0:27:57	そのあたりは、
0:27:58	竜巻とはどう話をしてるのか、共通 12 との関連性でどう見ているのかっていうのは、整理してますか。
0:28:07	ちなみに、竜巻の方も 1.0 とは書いてないんですけど、大枠があって、それは相変わらずその前振りなだけで具体は 1.1 ですみたいになってるから、竜巻も駄目なんですけど。
0:28:25	竜巻のためな状況に引っ張られて書きちゃったけど、
0:28:32	はい。日本原燃の高井でございます。おっしゃっていただいた趣旨ははい。
0:28:39	すいません。理解いたしました 1. まさに 1.1ーナカノの整理事項の中に 1.2 という山があるということでは、整理するということ、相互そこを並列に分けてしまっている。
0:28:52	というところで、はい。そういう理解できてなかったなというふうに認識してます。こちらのイシグロのことも
0:29:00	調整をして三本柱だというところで並列に書いてしまった。そこら辺からしっかりと理解、タスクというところの理解というところが、
0:29:11	混乱してたなというふうに反省しております。
0:29:16	はい。補足です。
0:29:19	その際コサクです
0:29:23	最初のところワー
0:29:26	ちょっと忘れるとしてですね、信田伊能所長タスクとしてどう整理をしていってるかという、実態問題として話をしたいと思うんですけど。
0:29:40	大枠はまず共通 12 の
0:29:42	一連の方針っていうのを踏まえた形で再整理をしてくださいと。
0:29:47	いうことだからそうすると他タスクとの関連、関係性っていうところには、この共通 12 本分との整合とかじゃなくて、
0:29:57	共通 12 の対応方針 No. ナンバー、
0:30:01	との関係ということで示していただきたいと思います。
0:30:06	すいません。まだ提示されてないので何番ですよねって言いながらできないのが残念なんですけど、当初の
0:30:15	提出予定はこのヒアリングの前だったので、そういう話もしようと思って心づもりしてたんですけどできなかったんで、ばくっとだけ申し上げますが、明日のヒアリングでは、

0:30:27	今日も踏まえながらこういうふうな関係でやってきますというふうに説明 いただきたいと。
0:30:34	ちょっとすみませんね
0:30:36	今、うちの中で防災管理は、
0:30:41	変更で走っているので、
0:30:44	何件かす。
0:30:46	メールが入ってきてますけど、
0:30:51	それで
0:30:56	おぼろげながらで話をする等、まずは説明すべき事項っていうのを、
0:31:02	ちゃんと整理をしますっていうのが、やはり実務としては最初だったんじ ゃないのかなと思うんですね。
0:31:10	です。
0:31:13	そうすると、1.2 より 1.3 の方が最初なんじゃないのかっていう気がする んですよ。1.3 よりも前にやることもあるんですけど、
0:31:24	それなんで 1.2 と 1.3 こういふ順番になって、
0:31:36	はい、日本原燃の高谷でございます。
0:31:42	趣旨としては、
0:31:46	1.2 という意味の項目と 1.3 という項目自体が全く並列だというふうに認 識してしまってやはり説明すべき事項から整理するべきというところの 観点が
0:32:01	少なかったために、準順番というところにはあまり意識がいつてなかった というところでございます。はい。
0:32:11	と規制庁コサクです。
0:32:12	それだとするとこの数回のヒアリングは何だったんだっていう気がする ので、
0:32:19	ヒアリングでの徴収もちゃんとできてないし振り返りもできてないという 感じになっちゃうんでちょっと困るんですけど。
0:32:28	ええ。
0:32:29	とちゃんと共通中にタスクが何なのか。
0:32:32	それを踏まえた上で、個別の対応として何をすべきなのかということをし ゃんと繋がりを持って対応いただきたいと思います。
0:32:45	大枠は設計説明分類。
0:32:48	を設定する。それ分類間での関係性も見ながら、説明グループの構成 をしていく。

0:32:58	それによって、
0:33:01	その中で
0:33:03	と、
0:33:04	どれを代表にだったり、どのグループの段階で何まで説明するかと。
0:33:10	いうことを構成をして、一連、
0:33:16	合理的に、かつ的確に説明していけるようになるかということの絵姿を作っていくと。
0:33:23	というのが大枠のタスクであって、
0:33:26	その中でまずは、
0:33:32	作業としては骨格に説明すべき事項と、
0:33:36	いうことがあるので、それを整理しなきゃいけないと。
0:33:41	ということだったと思います。その時に、DBとSAそれぞれ、
0:33:48	説明すべき事項があり、関連するものがいっぱいありと。
0:33:52	ということだから、ちゃんとピックアップして関連性見ていきましょうねと。
0:33:57	いうことであって、その説明すべき事項というものは何ぞやっていうと、1ポツ3で書いてあるように、構造設計の間、
0:34:08	形だったり構造設計等だからシステム設計だったり配置設計だったり と、
0:34:12	いうことですけどそういうことがあったり改善評価のことがあったりと、
0:34:16	いうことがあるのでピックアップしますというのがあって、それが主、最終的な資料になるんですけど、
0:34:24	ただ現状の皆さんの作業でやると、
0:34:29	的確に構造設計等で説明すべきことが抽出できていないと。
0:34:35	解析評価に落ちちゃっていると、いうことがあったのでそこは落ちないようにどうできますかっていう議論をしていると。
0:34:42	ということでこの1ポツ3のタスクが立ち上がっていると。
0:34:46	いうことであって、現状のこの書きぶりではそういうことを認識して対応するというふうに読めないんですけど。
0:34:55	認識はされてます。そのためにどういうふうな作業をしようとしてます。
0:35:07	はい。日本原燃の高井でございます。
0:35:12	まず、そうですね。今おっしゃっていただきました、全体のはい。
0:35:19	もれなくというところで、まず説明すべき項目をどのように抽出するか、薄まるというところについて書いてないというのはおっしゃる通りだというふうに認識してます。そのところについては確かに基本設計方針、

0:35:33	に対して抽出するところの具体的な内容というのが書けておらず、そこについては、少し頭の整理を今しないといけないという段階でございます。
0:35:46	そこはきちんと書けてこそタスクが活きますと思いますんで、検討し書きたいなというふうに記載をさせていただきたいなというふうに考えております。以上でございます。
0:35:57	コサクです。ちょっとかみ合っていないような気がするんですけど。
0:36:02	私はその対応方針書けてないのはもう当然わかっている、
0:36:06	ちゃんと書くのは当たり前で、
0:36:09	その差キーに、具体的にそう漏れないように、特に解析評価っぽく書きちゃっている、せ、基本設計方針の
0:36:22	文章、一文について、同構造設計上、
0:36:28	関連することを説明すべきことっていうのを抽出作業していくかと。それをどう我々に提示をしていくかと。
0:36:37	いうことの作業のイメージを、
0:36:40	聞いているんですよ。この対応方針どう書くかの話なんかしてないんですよ。
0:36:45	まだ。
0:36:50	で、今そういう回答ができないっていうことからすると、
0:36:54	1週間、何やってたんですかっていうような気がするんですけど、作業してないんですか。
0:37:04	はい。日本原燃の高谷でございます。
0:37:09	個々個別具体的に解析評価というところで、表すものとか、すいませんまず作業としては、これ、まだ個別の具体的な整理というところを進めていて全体の頭整理ができてないというところだと。菅兎玉です。はい。
0:37:25	ちょっと余りにもひどいので飛びますけど、個別のことをやっていて全体の整理ができてないっていうんだったら、もう個別の作業全部ストップしてください。
0:37:35	そんなんじゃステアリングにならないんです。
0:37:38	はい。日本原燃の高井でございます失礼いたしました。
0:37:46	結局、メディアでございます。ちょっとやりとりがおかしな報告必要なので、
0:37:56	タカヤの方でもハンドリングをしてくれていて、とは 1.3 の項目なんかはちゃんと書けてないのはおっしゃる通りではあるんですけど、

0:38:07	おっしゃっていただいている構造設計評価仕分けをちゃんとやらなきゃいけない。その一番難しいのが、溢水かなというふうには話をしながら、共通認識は持っているとっていて、
0:38:21	特に水のところ構造設計として示すことに抜けがないようにということの配慮をどういうポイントでしていかなくちゃいけないかっていうのを全体に渡って、
0:38:32	整理をしてくれてると思ってて、ただ書き方の問題はあるんですけど、2ページかな、の、1.3の①番の中で矢印で書いてある項目はそういうことを意識して、
0:38:44	書いてくれてると思ってはいたんです。ただちょっと口でうまく説明してくれてないので、
0:38:50	とはいえまだ
0:38:54	項目立てをしてそれがイケダイセ予算でという書き方になってどういうふうに、その構造設計っていうのを洗い出していくのかっていうところがうまく書いてない。そこがまだ整理が具体の展開できてないところだと思っていて、
0:39:07	そういうことを段階的にやろうとしてるっていうのは、今わかっていたただそれがうまく口で説明できてないのかなと思ってました。
0:39:19	古作です。うまく口で説明できていないだけでアウトプットはちゃんと出てくれば、マリーどうこう言うつもりはないんですけど、これまでそんなことができたためしがないので、
0:39:32	全くもって信用できない。
0:39:35	です。
0:39:35	この文面では、あくまでも資料3で提示します。
0:39:40	という方針です。9月下旬に出そうとしていて、
0:39:45	実際に出てくるものも、
0:39:50	これまでの資料2でやっていたような形式的に分けただけで、提示があり、説明が不足していると。
0:39:58	いうことで説明不足については、規制庁からご指摘をいただきたいと。
0:40:06	いう感覚でしか私には見えません。
0:40:09	そうじゃないですこっだけ配慮して頑張っていきますということであればそれを書く。
0:40:14	という意識が普通にあるはずですよ。
0:40:17	書いてないってことは、意識がないということです。どうしか思えません。
0:40:22	ので、

0:40:23	当たり前の今書いてある 10 行ぐらいのやつは当たり前だから書かなくてよくて、
0:40:28	そういうことをやっていきますっていうことを書いてください。
0:40:37	はい。宮城の高谷でございます。はい。こちらでやろうとしてるはい。整理をきちんとこと細かく。はい。いや、きちんと整理して書きたいというふうに思っております。
0:40:52	はい。コサクです。
0:40:59	ちょっと話を戻すとDBを先行させてそのあとSA合流しますというのは前回のヒアリングでも話をしたことで、
0:41:08	それはなぜかという、今話をしたその構造設計解析評価とかっていうのの素地をつくっておかないと、
0:41:17	エスエーが乗っかるようがないと。
0:41:21	ということだから、まずは条文として一式整理がされているDB。
0:41:27	のところを一旦整理をして、
0:41:30	その上でやろうということ、またそのDBとSAの関係っていうのは、竜巻側で概念整理をして、或いはその作業イメージを確定させて
0:41:42	竜巻溢水だけじゃなくて他の事象についても展開をしていくと。
0:41:47	ということなので、その方法に従って作業したいから、それまでの間はDBのこの部分の作業に集中していきますと。
0:41:57	ということだったと理解をしています。
0:42:00	であればこそ、1.2. 3じゃねえだろうと。
0:42:04	ということなんですね。
0:42:09	一応、三つの作業のイメージはそういうことであってるんですね。高橋さんも認識大丈夫ですかね。
0:42:17	はい。日本原燃高谷でございます。はい。認識合ってると考えております。はい。
0:42:24	はい、高坂です。であれば、なおのこと 1.3 の先ほど言ったようなことの実体イメージが説明できないのはナンセンスです。
0:42:33	今まさにやっていることを、
0:42:36	指示しなきゃいけない人が説明できないなんてありえないじゃないですか。
0:42:47	はい。日本原燃の高谷でございます。はい。勧めアノ口口できちんと説明できてないってことは頭の整理ができてないということだと思っております。今先ほどイシイハラの方から補足していただいた、

0:43:02	認識で動いてはみます。そこの全体整理をしてちゃんときちんと指示ができないといけないというふうに今、はい。反省してます。そこはイシハラとも、
0:43:12	今日の協力を終えて、はい、やりたいというふうに思っております。以上でございます。
0:43:18	はい。高速です。あまりにも不安なので、前のコメントリスト系のパターンで言うのですね、これの作業の1例でもちょっと示していいっていう、
0:43:30	ことなんですよ。
0:43:33	そういう、そういう話題に上がりそうな基本設計方針何例か出して、
0:43:40	これまでは評価っていうことに、
0:43:43	限定して書いてましたけど、こういう視点で、前段で構造設計というのがありますシステム設計というのがあります。
0:43:51	その上で評価はこういうふうにやりますと。
0:43:54	いう。
0:43:55	のがあったので、こういうふうに整理をしていきますと、他のものも整理をしてきますとかですね、逆に、
0:44:04	構造設計で終わりになってたけど実は評価こういうのもあったんで評価をぶら下げますとか、いろんな方法ありますよね。
0:44:12	ということをお話していたかと思しますので、そのパターンごとに例示を挙げていって、こういう作業で、今後こういう
0:44:24	進めていって全体まとめてこういう資料として提示をしていくつもりですと。
0:44:31	いうのは示せるんじゃないのかなと思いますけど、今作業してるっていうことからすると一両日にでもそんなの作って出せます。
0:44:42	はい。日本原燃の高屋でございます。はい。1例としてイメージの方全野瀬整理してはい出させていたきたいと思います。
0:44:52	はい。コサクですわかりました。そしたら今日のヒアリングを踏まえて対応方針を整理するにあたっては、この部分は0事例も含めて、提示をいただければと思います。前のコメント率だところで別紙参照とか、
0:45:06	後ろにペタッと貼り付ければいいので、
0:45:09	あまりその運用は来ないのかなと思ってましたけど、
0:45:13	ないと話にならなそうなのでよろしくお願いします。
0:45:19	はい、スゲノタカムラ承知いたしました。
0:45:24	古作です。その上ここ、
0:45:29	竜巻の方を見るとですね、今みたいな詳細はあんまり書いていなくて、

0:45:36	1-101の中で、先ほど私が口頭で言ったような全体像が目的として書かれていて、多少分割したタスクとして、
0:45:48	括弧の見だしがあり、矢印で具体作業が書いてある。
0:45:53	いう形に、
0:45:55	なってるんです。
0:45:57	で、ここ、そこでわあ、単純に資料2で作業するような内容を、資料2とは言わずに、00資料でこれまでやってたものからただ持ってきますと、
0:46:09	いうふうに書いていて、
0:46:13	その点だと、本当に大丈夫かなみたいなのが、
0:46:16	あるんですけど、
0:46:20	大枠そ先ほど言ったような視点の部分は、
0:46:26	目をつぶれば方向性としては、あるんだろうなと。
0:46:31	思ってるんですけど、竜巻の方はその先のところまでいってて分類の設定をどうするか、その中で分類間の関係性をどう見ていって
0:46:45	類型をこのようにするということに、
0:46:50	その妥当性みたいなことを説明をしていきますと、
0:46:54	いうことまで記載をされてるんですけど。
0:46:58	溢水の方はその視点がないんですけど、
0:47:04	どうなってんですか。
0:47:16	はい、日本原燃の高井でございます。
0:47:20	まさに1.3の整理というところをどうやっていくかというところ、検討を続けている中で、その説明すべき項目の整理が、
0:47:31	できることによって、設計、
0:47:34	アマノ、設計説明分類説明グループに対する、
0:47:38	どう、どういう代表を決めていくかという整理ができるのかなというふうに考えておまして、そこに到達するところで、竜巻と同様の整理というところをやっていきたいなというふうに考えていた次第でございます。
0:47:52	規制庁コサクです。今の説明
0:47:56	言うと、
0:47:58	1.2.3をやった上で、1.1に戻ってやることになってますと書いてあります。
0:48:07	特に気をつけることはありませんと。
0:48:10	いうことの説明だったように気がするんですけど。
0:48:13	とんでもない運間違いで、

0:48:16	1.2、1.3%は 1.3 のところで、③以降ですね。
0:48:22	いろいろと書いてある事項は、これは分類のどこにどう入れておくべきか設備として抽出しておくべきか。
0:48:32	どういう扱いにしていくかって考えなきゃいけないパーツばかりで、
0:48:37	これは説明すべき事項の抽出もそうなんですけど、
0:48:42	その先の設備抽出だったり、先高並行だとあれですけど、設備抽出、説明分類。
0:48:57	説明グループと、というようなことの中で、それぞれ配慮していくことにもなるので、
0:49:04	この 1.3 という中で説明すべき事項の整理っていうだけでは進まないんですよ。
0:49:13	なので、
0:49:18	その分類のときにどうこういうことを配慮していくのかってことは常にまた考えなきゃいけないしと。
0:49:24	いうことだから、こんなに一つ一つを分厚く書いても意味がなくて、
0:49:32	分類を考えるとときの視点として、こういうことを考えていきますという、項目ぐらいで書くのが適切なんじゃないですかというお話をしたと。
0:49:41	いう。
0:49:42	ことをご理解いただけてないっていう感じがするん。
0:49:46	です。
0:49:47	で、
0:49:50	全体として課題を、
0:49:55	中明確にして肯定感を示すと。
0:49:58	いうことの話をしてますから、
0:50:02	現状その 1.2. 3 だけで 1.12 まとめちゃってる部分のその分類グループなりの検討というのも、
0:50:12	タスクとして分けていきます。うんっていうんだったら元神現時点において、ちゃんと 1. なにがしということで、ピックアップC、どういう順番なのか。
0:50:23	どういう関係性を持って対応していくのかと。
0:50:26	いう記載の中で、配慮することがわかるようにしていただかないと対応方針にならない。
0:50:31	私がかこれ部下だったら仕事しないですよ。
0:50:37	1 年間でも楽しく野瀬。

0:50:40	だって指示受けてないんだもん。
0:50:48	はい。日本原燃の高谷でございます。まさに、はい、1.1 のところの分類の検討というところを 1.2. 3 で、
0:50:57	具体的に書いてないということは、はい、おっしゃる通りだと思います。その関連というところ、ここ、並列に書いてしまった理由として三つが同時並行だというふうに過去これまで思っていた。でもやっぱり時優先順位と、
0:51:11	でも連携があるというところをきっちりと書かないと、作業にミツイ結びつかないというところも、はい。認識できましたので、そこはは整理したいというふうに考えております。
0:51:27	規制庁山口です。今お話あったように、
0:51:32	共通 12 の前にやることとして、項目だけは挙げられてるんですけどもさ、説明グループの設定これも共通順位の本部に関連しますけどそういったところも含めて、
0:51:45	一連でどういう整理が必要かっていうのは、わかるように、実際の作業も含めて示していければと思うのですと、この対応方針自体はそういう整理はお願いしますと。
0:51:57	溢水についてはこれまでやってたヒアリングで、14 店舗いものとか確認してお早めに確認したい事項とかを、事前、
0:52:09	あの話はしてて、それから、結構期間としては空くので、その作業状況的なところも
0:52:18	3
0:52:19	ナカイ話になるかもしれないんですけど、
0:52:22	確認できればなあとちょっと思ってるのでちょっと少し細かい話も入るかもしれないですけどちょっと順番に確認したいと思います。
0:52:33	まず 1 ページ目のナンバー 1.270102 として挙げられてることで、今②で腐食性流、
0:52:43	はいはい、はい。全周破断を、SA固有として手挙げて、想定破損との違いを明確し化し提供する設計等を整理するってなってるんですけど。
0:52:53	この腐食性流体の話は 1 谷 1 例で、
0:52:57	でして、
0:52:58	ここで整理しないとイケないとホシコとしてはDBとSAそれぞれの欲求を踏まえた、
0:53:04	設計と、

0:53:05	上げた上で下がる事故を整理して、1 サイトウしてまとめて評価する上で、1 セガワ 2 引き渡す条件を整理していくっていうのも最終的にやらないこととしてあるんですけども、
0:53:18	その内正として、
0:53:21	今、この例を②として、
0:53:24	だけが挙げられてるんですけども、
0:53:26	ちょっと少し前の資料にはなってしまうんですけども、
0:53:32	8月7日2、DBとSAで、合わせて評価を行う事項に係る設計説明来事故っていう、
0:53:42	資料を出されたと思うんですけど、その中で、
0:53:47	溢水の防護方針、
0:53:50	として、
0:53:52	8月7日提出通の資料、低圧原燃開けますでしょうか。
0:54:01	特に画面共有はある。
0:54:03	できればねまず高谷さんの方で開ければ確認できる状態には、
0:54:08	ありますか。
0:54:14	日本原燃高井でございます。少々準備しますので、はい。一文をください。
0:54:27	コサクですけど。
0:54:29	すぐ開けます。
0:54:30	開けないならこっちが開いて、
0:54:33	画面共有した方が早いかなと思いますけど、日本語のタカヤでございます。こちらで開けますので、場面共有とともにはいこちらで準備させていただきます。
0:54:45	8月7日提出の、
0:54:48	11ページの、
0:54:50	になるんですけど、ちょっと他の形にもらってそのあとの資料とかにも同じことが書かれてたりするんですけど、
0:54:59	等、
0:55:02	11ページで、
0:55:06	水防方針っていうのが、まとめられてて、そこでそのSAで、DBとSAの差分として、
0:55:17	赤字で書かれてるのがある、あるんですけど、
0:55:22	頭をまず没水でいうと、

0:55:30	でも凄み増殖することにより直ちに機能は回復する設計とかがあって想定破損によりSAが発生しないため、
0:55:39	これって具体的に、
0:55:41	防護方針としてDBとの違いとしては、何を、
0:55:46	示してる、何のことを言ってるのかって、SAの担当してもいいんですけど説明いただけますか。
0:56:00	はい。日本原燃の瀬川です。すいません冒頭発言する人間としてちょっとエントリーしてませんでしたけれどもセガワの方から説明させていただきます。
0:56:11	とですね防水に対して
0:56:15	11 ページですね。
0:56:18	想定破損のときを、水を除去することに直ちに機能回復する設計これ何を言ってるかというところですね、DB側はもちろん安重を対象にですね、0イチノセ会で、
0:56:30	機能を喪失させないようにということで防水しない設計というのが基本になるんですけども、SAの場合は、ここに書いてある、書いてある通りではなく、括弧書きに書いてある通りではあるんですけども、
0:56:44	想定破損とSAの発生というのは関連性がないので、具体的にはですね温度計とカーを指すためのさや管の接続孔ですね。
0:56:55	こういったところが、1時想定破損で没水したとしてもですね、直ちに水位を低下させることで、機能回復することができる、これは前提として、
0:57:08	SAの発生が想定破損によって発生しないといったところを念頭にですねそういう運用も込みで措置を講じてきますよということを書いて示したかった。
0:57:20	ということになります。以上です。
0:57:23	規制庁山口です。
0:57:27	宗遠山さんにより発生は発生しないためってということで、
0:57:33	そうかもしれないんですけど
0:57:38	結局、SAも、
0:57:40	DBと同じく、
0:57:46	清。
0:57:48	守るべきものは水上ですよ。機能を損なわないようにっていうビビッと同じように、SAの防護対象。

0:57:59	設備たちも守ると思ってたんですけどそういう差があるっていうこと。下がる設備もあるっていうことなんですね。ちょっと、はい。すみません。規制庁コサクです。
0:58:12	ここは丁寧に説明しなきゃいけないことで、前回の現地確認の時にも、没水するようなどころがあってそれが扱えよってというのは、
0:58:23	少し話をしましたけど、
0:58:25	まずは基本設計方針がどうなっていて、どの、
0:58:31	用語なり表現の中の内数として、どういう対応をとって行くのかと。
0:58:38	ということから始めないと、
0:58:41	おもむろにこの言葉が成功してもしょうがないんじゃないかなと思います。
0:58:48	おそらくですけど、機能を損なわない設計っていう内数なんじゃないかなと思ってて、
0:58:54	SAのこの機能ってなあにっていうと、SAが発生する恐れが生じたときに、その機能を、
0:59:04	或いは操作なりをできるようにしておくっていうのが、その機能。
0:59:10	維持ということになるんだろうなと。
0:59:15	であれば、ここはそのことを逆向きから言ってるような感じになってますけど、
0:59:24	それだけでは足りなくて、
0:59:27	ここで防護設計というんで同方針というんであれば、
0:59:34	僕推してる間において、
0:59:37	どの程度の状態を維持しておくのか。
0:59:41	それによって
0:59:44	水を除去した後にも、直ちにできますよと。
0:59:49	いうところまでの説明になるんじゃないのかなと思いますけどいかがですかね。
0:59:55	はい。日本原燃の瀬川です大分今古作さんに解説していただいた通りでして、まずこの8月17日提出資料ですねこれ基本設計方針の表現をすっ飛ばして、
1:00:08	その先をちょっと先取りした内容ばかりを並べてしまっていたので、これについてはですね先日の竜巻でもご指摘あった通りですね、まず基本設計方針の表現としての、
1:00:21	DBとSAの比較といった部分をきちんとやらせていただいた上で、これもまたコサクさんにすでに言っていたいてましたけれども機能を損な

	わない設計というその部分ですね、そこをよりどころに、より具体的に展開すると。
1:00:37	こうなってきます。今 11 ページでご覧になってるような内容になってきますというような、そういう繋がりで深掘りしてか、深掘りを進める、整理をしなきゃいけないというのは認識しておりますこれ今竜巻を例に、まず、トライアルしているところでございます。
1:00:53	1 点ちょっと観点として図抜けてたのがですね、その没水してる期間中がどうだから、こういう状況でいいんだといった部分の解説ですね、解説というか言い訳というか、
1:01:06	それーについてはちょっと配慮がちょっと不足してたなというふうに認識したところですよ。以上です。
1:01:15	規制庁山口です。あと、基本設計をし、確かに
1:01:20	8 月等の資料だと、急に書かれているのでそういうところもわからないけどコメントはしてると思うので、対応方針でいうと、②の添想定破損とかだけ、
1:01:32	じゃない、抑制流体とかそういうのだけじゃなくて、そういったところも、
1:01:37	含めて今の話他赤字の箇所とかもあると思うんですけども、そういったところも含めて基本設計方針から整理する作業を、
1:01:46	イマイシマウチもちゃんと、一部認識が漏れてたっていうところもあったと思うので、整理されるっていうことで理解しました。
1:01:56	藤。
1:01:58	池なんですけども、そう。
1:02:00	丸さん、1 ページ目の③で、
1:02:04	溢水対策設備のDBSAそれぞれの耐震性を考慮して溢水経路を設定する、それぞれの提出を考慮してっていうことであるんですけど、
1:02:15	そもそも図の、
1:02:16	対策設備、流入防止、
1:02:19	とするその積とか扉とか、
1:02:23	だったりあと、その経路を行使するパネル通路部とかにおいてDBSAの 1.0Ssと 1.2Ssの機能維持に差があるもの、こっちは 1.0Ssにもつけど 1.2Ss2 を持ちませんとかそういうものがあって、
1:02:39	それを考慮して設定するっていう説明をしようとしてるんですかね。そういったものがあるのかどうかとかって、
1:02:47	今どういう方針で設計保育設計を方針考えてるんでしょうか。
1:03:04	そう。

1:03:06	上の方でございます。今ご質問いただいたところデービーの溢水防護区画衛星の顧客も分けてということるところは散在するというのがまず一つ目の回答でございます。
1:03:20	具体的にはF施設とかのところの一部があるということではないですか。すいませんちょっと質問の仕方はよかったね。
1:03:30	ということで評価対象。
1:03:32	野瀬。
1:03:33	その設定するので、佐賀SEとDに差があるのはあると思うんですけども、あとその一斉対策設備とか、こっちはDB1.0Ssにし、
1:03:45	ますけど、1.2Ssにはもたないとか、そういう差がある設計してる。
1:03:52	対策設備もいる。
1:03:53	のかどうかっていう点はいかがでしょうか。
1:04:00	日本原燃田仲でございます。
1:04:03	先ほど高谷が申したことと少しかぶるんですけども、
1:04:07	基本的に
1:04:09	S1.0と1.2両方持つような設計にはしてるんですけども、Fの地下に関しては、SAの対応がないもので、そこに関しては、そこにつける積に関しては1.0。
1:04:22	の評価だけをしているものがございます。
1:04:28	以上です。
1:04:29	規制庁山口です。
1:04:32	しました。ちなみに
1:04:35	すみませんちょっと1節の、ちゃんと
1:04:41	建物の関係とかちゃんと理解できてないのであれなんですけど、
1:04:46	古野。
1:04:48	藤。もし、1点、水の流入っていう、
1:04:54	ことで、
1:04:59	S、
1:05:03	古作です。ちょっとまず前提の確認ですけど、今の話ワー、再処理の場合、プールの冷却っていうのがあん順になってて、
1:05:14	冷却機能が地下階にあるということから防護対象にしている、ルートも設定してますと。
1:05:23	いうこと、一方でSAについては、冷却機能は、考えていなくて、

1:05:31	オペフロの方から水を入れるということだけがSA機能なので、地下階については対象になってないということでもいいですか。
1:05:40	はい。三宅の高でございます。おっしゃる通りでございます。
1:05:46	わかりました。はい、ありがとうございます。
1:05:55	藤てなんですけど、都丸4番、
1:05:59	アクセスルート等について操作場所での操作の可否を考慮することを示すってということなんですけども、
1:06:08	その前から言ってた通り
1:06:10	アクセスルートだけじゃなくて操作場所とかの考慮が守れてたってことなんですけどそもそもそのSAとして、守るべきもの、あと、
1:06:21	評価しないといけない場所っていうか、
1:06:24	そういったものの抽出の考え方ももう整理はされてるんでしょうか。
1:06:36	日本原燃の瀬川です。ちょっと抽出の考え方という、ちょっと観点はあまり持たせなかったんですが、アクセスする。
1:06:48	空間、そして実際に作業しない。はい。
1:06:53	家が
1:06:55	対象となる、何を考慮しなきゃいけないかの場所とか、そういったケースは全部出してるのは出してるよね。
1:07:02	さっきのあれだよ。
1:07:05	赤字で書いてあった。
1:07:08	まさしくあの部分みたいな、あれ正予算で書こうと思うと、構造設計の配慮って、本当は何を考えなきゃいけないかって全部修正しないと、局長につくれないんですよ。
1:07:19	基本作業まではまだ終わってないってこと。
1:07:22	だからどういう場所に対して、何を考えなきゃいけないか、ということまでは実は終わってるっていいかな。そうですねはい。石原さんのおっしゃる通りです。
1:07:35	わかりましたちょっとSAの方が、特に何か
1:07:39	実際作業とかをしてるのかどうかっていうのがあやしいところがあったら、そういったところは整理されているってことで、
1:07:49	はい。与儀ニシダでちょっと補足しますと、先ほどのやりとりがまさしく、
1:07:54	と同様だと思ってまして、
1:07:58	行動設計で考慮しなきゃいけないことって一体何ってということに対して、

1:08:06	設置場所、もしくは常設の設備に対してはこういうことを考えるのが私機能を損なわないという設計だと、いうことだと思うんです。要は明らかだと思うんですけど、
1:08:18	操作場所っていうのが、どういうことを考慮するのが私機能を損なわない設計なのか、操作が可能な対処に、必要な機能を損なわない設計なのかっていうところが、
1:08:29	具体化まだできてないんだと思ってましてそこをやらやってもやっていると いう最中だと思ってます。それをしないと、先ほどの、
1:08:39	水がはければいいじゃ水がはけて、配管分まででもいいのかとかですねその場所近辺のものが全部倒れて操作できなかつたら意味がないじゃないかとか、
1:08:49	そういった案内系判定基準とか構造設計上考慮しなきゃいけないものってのは漏れなく抽出できてないと資料3まともに書けないので、そういう作業がまだ市として進んでない状況ではあると。
1:09:04	山崎です。補足ありがとうございます。
1:09:11	規制庁コサクです。
1:09:13	それは、どの場でどういうふうにやっていきますか。
1:09:18	ということなんですけど、これでいうとSAのところっていう感じに見えるんですけど。
1:09:26	そもそもアクセスルート云々という関係だ等、DBでも、
1:09:32	何つつって言ったら、清掃、アクセス通路部っていうことで、方針はあって、それとの関係はどうなんだっていうことも議論はあったと思うんですけど。
1:09:45	それと
1:09:48	類似していくんであれば、まず最初のそのDBでNorth説明すべき事項の整理をしますという中にも入ってきてそのあと、
1:09:59	SAが乗っかってくるときにその枠で差分があるかどうかっていう話になると思うんですが、どう進めるってやって思えばいいでしょうか。
1:10:11	はい。日本原燃清でございます。はいおっしゃっていただいている通りだと思うんですけど、考えなきゃいけないものがどれだけパイがあるかっていう、大小関係を比較して、
1:10:23	どっち側でやるかっていう、決める方法もあるかなと思ってまして、SAの方の真子を設計方針基本設計方針からダイレクトに、

1:10:33	そのままどう行動設計に結びつけられればいいのかっていうのがこないところをどうひも解いていくかと、資料3としてちゃんとエントリすべき設計が書けるかというところの整理を、
1:10:45	しっかりやらないといけないと思ってそっちの情報量がかなり多いなと思ってまして、できま今思ってるのは1.2の中で、一定にも1から4まで分ける必要もなくて、
1:10:55	言ってることは、はい。その中で、あわせてDB上での類似品で、基本設計方針から直で、構造設計に、
1:11:06	うまくダイレクトに繋がらないようなものを、どう整理をしていきますかってことも、項目立てて合わせてやっていければなと思ってました。
1:11:15	規制庁コサクです。
1:11:18	ずっと心配になったことのトリガーがようやく引けるかなと思うんですけど、
1:11:22	今の話からすると、
1:11:25	DBSAの関係ということでSAの着手を竜巻が終わるまで待ってるってすると、
1:11:33	今の議論がなかなか着手できないということになって、実際問題で言うDB。
1:11:41	のところでの説明すべき事項という整理にもはねるので、
1:11:49	前後関係も含めずるといってしまうんじゃないのかなと。
1:11:55	思ってたんですよ。なので、
1:11:58	最終的にまとめるのは
1:12:01	竜巻を踏まえてかもしれないけど、その先行してやっつくべきものはやっついた方がいいんじゃないかなと。
1:12:07	思っていて、SAをまず最初にという今のような話であればそれをちゃんとピックアップして、先行してやりますとっていただいたらいいかと思えます。
1:12:21	はい、二本木西様でございますはい。そうですねおっしゃっていただけてる通りだと思います。やらなきゃいけないボリューム感からすると、溢水量が圧倒的に多いと思いますし、
1:12:32	ベースとなるDBSAの整理を竜巻でやりますとって、それを横イデ見ながら、同時並行的にやっていければいい話ではあると思うので、はい。タスクとして順番シーケンスにしないで、
1:12:46	もうやれる子、やるべきことをちゃんとまずやっていくという意味でこの1.2、1.2の作業と1.3の作業も、結局は順番だと言いながらも、

1:12:59	1.3 の整理をしながらも、
1:13:02	一定にも並行してやらないと全然話にもならん気もするので、はい。その作業順番なり、強いケースは考えます。
1:13:12	規制庁山口です。お願いします。今SAの話をしたところでそういったまだまだ整理が必要なことがあるっていう
1:13:22	ことで
1:13:24	高屋さんも認識はされてると思うんですけども、そういったことが結局対応方針だと読めないなので、つけてます
1:13:34	検討事項はわかるように、整理していただければと思います。
1:13:40	1 ページ目までに他ありますでしょうか。規制庁がオカな。
1:13:47	明日、続いて、
1:13:50	2 ページ目。
1:13:53	2 点お願いします。
1:13:55	藤ナンバー1.3 ちょっとこの辺はこれまでの議論を踏まえて整理をさせていただくんですけども、
1:14:04	旧ナンバーっていうと、
1:14:08	35 番の、
1:14:16	4 ページ。
1:14:19	⑪と左のナンバーで言うと⑪で、
1:14:24	ここについては、
1:14:28	総合的に保守的な設定としていることを説明するっていうことで、結局保守性をしてってこと言ってるけどぜ、それぞれどういった保守性を見込んで、
1:14:39	設定してるのかっていうの、一式として説明が必要だっていうことは認識されてると思うんですけど。
1:14:45	その中でQナンバーで 35 番がそのナカノに入ってるんですけど、この 9 ナンバー35 番は真横床勾配の
1:14:56	設定の話で、これ過去にコメントリストの別紙としても一度話は聞いたけど説明しきれずについていうことで、まだ整理が進んで、現在の整理は済んでるかもしれないんですけど確認ができてないと思うんですけども、
1:15:13	それは特 2 やっぱり高さの設定っていうところで、影響はしてくるので、早めに考えていうのは聞いておきたい事項だなと思ってるんですけどその点現状と認識
1:15:27	下には個別タスクの方にはそれが入ってないんですけども、その辺りの認識いかがでしょうか。

1:15:39	はい。下の高井でございます。リックコ場への考慮について、実際に採取水量とかも考慮した嵩上げとかいうところの考え方を説明いたしました。
1:15:51	具体的なこれまで説明をしたいというふうに考えていまして、そこにつきまして評価に当たるところ、あと嵩上げを、を行うというところを更新したので、
1:16:04	共通順位の中で説明しようと思いました。ただしそこを影響が大きいということも、踏まえると個別タスクでもう一度丁寧にご説明しようかなというふうに考えておりますので、
1:16:17	個別タスクとして上げたいというふうに考えております。以上でございます。
1:16:22	規制庁山口です。ちなみにその今共通順位の中で説明しようと考えていたっていう古藤だと、
1:16:30	もともと今現状の基本設計方針で書かれてる、その設定っていうのからこの考え方は特に変え設定の仕方っていうのは変えてないっていう現状の原因としての方針はそういうことでもいい。
1:16:46	よろしいでしょうか。
1:16:51	日本原燃高屋でございます。すいませんどっちの発言に語弊があったんあるかもしれませんが過去のヒアリングで議論をさせていただいたところから、
1:17:01	一部変更して、水路を考慮した嵩上げということも、あの件踏まえた形にしたいというふうに考えております。
1:17:10	それで、それを今日ツジ 2 でご説明しようというふうに考えておりました。以上でございます。
1:17:15	規制庁山口です。釜田牧野式方針、今書いてる事項とも少し中身も変わると思う、変わるかもしれないのでちょっとその野瀬
1:17:27	ゲットを変え、変えてるのかっていうのは、
1:17:31	確認できればと思うので、
1:17:35	古作です。ちょっと
1:17:40	気になるんですけど、共通 12 で説明することを個別で説明することという、
1:17:47	ことを言われてたんですけど、一体何、どこで何をどういうふうに説明するのが適切と思っているのかというのが、
1:17:57	わからなくなってきてて、

1:18:01	今の4ページの⑪での記載でいうと、資料3に置いて評価の具体を示す。
1:18:11	おかしいですね。
1:18:20	おかしいと思わないんですね。
1:18:23	はい。日本原燃の高谷でございます。ここで借りている評価の具体というところの、
1:18:31	内容がですね、まさしく先ほどの話であれば、床の勾配がどうなっているかとか、水源溢水量と床の勾配がどうなっているかではなくて、
1:18:44	床の勾配をどうするかなんですよ。
1:18:48	設計方針なり設計の考え方の説明っていうことで言うと、
1:18:52	一方で、溢水防護のために床ぼ床の勾配をつけてるのかっていうと、
1:18:58	そういうことでしたっけそうじゃないんですっけ。
1:19:05	はい。宮城の高井でございます。失礼いたしましたもともとある床の勾配というところを考慮するというでございます。
1:19:12	コサクです。そうすると、
1:19:15	溢水防護の構造設計において床のこの場合を、
1:19:20	説明するかっていうと、
1:19:25	ちょっと違うかなって気はするんですよ。一方で事実間言われるように事実関係として勾配をベッドの要求なりからしていますと、
1:19:35	いうのを構造として説明しておきたいと。
1:19:39	なぜならば評価においてこういう扱いをするのでと。
1:19:45	いうことであればまだ理解はできるんですけど、それもだからこそこの枠でも書いてるんだと思いますが、評価こういうふうにしたっていう
1:19:59	いう。
1:20:00	能動的な意味があって、構造上の配慮をすると。
1:20:04	いうことでもないの、
1:20:07	あくまで事実的にこうだから評価でこう、
1:20:11	含めてますということは、
1:20:14	これまでの共通12での説明すべき。
1:20:19	項目漏れのないようにっていうところとはちょっと、
1:20:23	意味合いが違ってるとかと思っていて、
1:20:26	そういったところを踏まえてどう説明するのが適切かっていうのをよく考えていただきたいなと思います。
1:20:33	その上で

1:20:37	個別補足説明ということで、評価での設定根拠と、
1:20:43	というのは当然示していただくだらうなと思いますので、その趣旨で個別になって言われてるんであれば理解はできるんですけど、これ単品で個別補足説明作られてもどうしようもないなと思ってるんですが、
1:20:56	どういう趣旨個別になって言われたかを説明いただけますか。
1:21:09	はい。日本原燃の高井でございます。今挙げさせていただいてる個別のタスクというところは他のタスクも同様なのですが、今、
1:21:20	これまでのヒアリングを踏まえて、認識を共有、早期に認識を共有しておきたい事項、今後、方針として変わり得るかもしれないというところの、
1:21:31	タスクを重点的に先にピンポイントで上げさせていただく。その中で、ここ、最終的に補足説明資料としては、一連の上流からの流れ、評価までの流れというところ。
1:21:45	合わせてご説明するものだというもので別物と考えておりました。
1:21:50	なのでピンポイントの別紙といういう名前をゆつかけたりしますが、その別紙でのQAという形で個別タスクでご説明しようというふうに、
1:22:00	考えております。以上でございます。コサクですごめんなさい、最後がよくわからないんですけど別紙の個別の云々って言うのは何のことですか。
1:22:09	5 ページ 6 ページの中に入れますっていう意味なんだっけ。
1:22:16	はい。
1:22:18	イノウエの高井でございます。おっしゃる通りでございます。
1:22:20	コサクですけど、これって
1:22:25	先行して何か対応しなきゃいけないことなんですか。
1:22:38	日本エリアですタカヤさんすみません、よくわかんなくなってきた、溢水の資料 2 資料 3、資料 4 も含めて、
1:22:50	作り上げて今後説明をするという前に、
1:22:54	あらかじめその考え方みたいのが、以前のヒアリングでうまく説明できてないとか事実関係も含めてっていうところはあくまで、溢水で設計をするものに限る話だと思っていて、
1:23:08	さっきの話で床勾配って言うてみれば義務なんですよね。もう近隣から変わってのある前提である、他の要求から来ている構造で決まっているものを、
1:23:21	イデは評価条件としてこう使えますよとってるだけなので、
1:23:25	わざわざ別にあげて事前に何かやらなきゃいけないのかと言われると、

1:23:32	何かSEのために新たに構造を変えにいってという、何か設計をしますっていうならわかるんですけど、そうじゃないんですよね、さっきのタカヤ、Bぶりだと。
1:23:44	はい、宮坂でございます。おっしゃる通りだと思ってます。はい。そういう意味でいうと、個別タスク云々関係なくて、あとは、これを資料 3、
1:23:55	だったりの中でどう表現していくか、資料 4 との紐付けも含めてどうするかってところ整理が個別としては、整理としてありますね。課題はできながらも、
1:24:06	実際は共通 12 の中で展開をしますということだけで、
1:24:10	終わりかなと。ただあとは共通に本体側でそういった配慮必要なものが明らかになったん時点で、本文上の記載として何らか手をつけておく必要があるかどうかというので、
1:24:24	そちらをタスクで拾うかどうかという話があるからということぐらいかなと思いますけど。
1:24:32	はい、植野高でございます。はい、ありがとうございます。はい。
1:24:35	おっしゃる通りだと思います。
1:24:38	規制庁山内です。
1:24:41	来先ほどの私の発言の意図としては、その床評価する上での床勾配を考慮して、
1:24:55	水位の設定っていうところで、どういうことをやってるのかっていうのを、これまでの話だと実用炉の毎期 0 とはまた違うゴトウをやってそれが、
1:25:07	原燃としてはこういう考慮でここに、その考え方に差がありますよっていうことをしっかり説明いただければ、
1:25:16	と思うので、それにもし、
1:25:20	バスとか汚水の設定を全体的にこう変わり得るとかでも、それその高さが足りなくなるとか設計変えないとかそういう大幅 2、
1:25:31	影響があるようなものであれば、早めに確認はしたいとは思ってたんですけども、
1:25:40	基本的には資料、
1:25:42	3、共通 12 の中で説明をするっていうことで、わかりましたので、
1:25:50	ごめん。
1:25:51	資料 3 で説明することじゃないという方向に、
1:25:55	向いていたんですけど、

1:26:02	はい、日本原燃の高谷でございます。先ほどの話は床勾配としてはもともとあるところなので最終的な私の考えとしては資料 4 の設定の条件パラメーターの中で、
1:26:15	原価表すものだというふうに考えております。以上でございます。
1:26:21	コサクですけど、さらにですね、資料 4 で、妥当性までを説明できるとは思えなくて、あくまでこういうところをこうやってますよという事実関係だけで、
1:26:33	それ説明は補足説明資料なんだろうなと思ってて、
1:26:38	その補足説明資料を床勾配についての扱いについてみたいな。
1:26:44	個別説明されてもう、
1:26:47	補足個別の補足説明資料がやたらいっぱいになっちゃうので、
1:26:51	没水影響評価について、野瀬アノ条件設定についてぐらい。
1:26:57	だったりっていうことじゃないかなあとって話をしてたんですけど。
1:27:01	どうしてます。それを 00 別紙 3 とかで整理をしていっていたはずで、それをまた共通中にこの資料 234 という中で、
1:27:15	再検討し、
1:27:19	必要なものを入れていって専売によっては枠組みを修正してということだったと思うんですけど、現状どうなってるんでしょう。
1:27:30	はい。日本原燃の高屋でございます。主灰をおっしゃっていただいている通りだと思っていまして 234 の整理をした上で、各共通 00 の 1003 の方で、
1:27:42	補足説明資料をどう整理していくかっていうところもあわせて意見等をしている今途中でございます。
1:27:50	以上でございます。コサクですんで、補足説明資料の構成としてはどうなっていて、そののどこでやろうとされてます。
1:28:03	日本原燃の高井でございます。すいません資料番号までちょっと、ですがパラメーターとして全体のパラメータの妥当性というところ。
1:28:15	ステージパラメーターの評価。
1:28:18	すいません少々お待ちください。
1:28:25	宮城瀬谷でございます。これ高部さん、さっき言いますけど、第 1 回るときにベースで作ってて、
1:28:34	最初の溢水の別紙 5 の補足説明資料の分割の仕方がやたらと細かった記憶があって、
1:28:44	ダムからそれイソダネットマークスからもお願いした記憶があって、

1:28:49	補正評価井清評価とか、そういう枠でやればいいじゃないかというところを、確か何とかのパラメータの設定については、高須。
1:28:59	すごい細かいべきだった記憶がある。
1:29:02	ので、ちょっとそこはもう1回、資料の構成をどうするか、それを読んでいう。
1:29:08	条件設定のいろんな、
1:29:10	ベッショをどう区切るか、それぞれ補足作ってもねっていうところの見た目も含めて、大枠を決めればいいのかなどと思っててまだそこは着手できてないと思ってるんだけど、それでいいですよ。
1:29:25	はい。日本原燃高井でございます。おっしゃる通りで補足説明資料はかなり細かく充実してあって、一般購買だけの単独の
1:29:35	補足説明資料もあるのかというところで今整理しているので、それはちょっと説明として通りなんで今後整理したい、いきたいと思います。
1:29:54	コサクです。わかりました。そうですね補足の関係は別紙5が最終的にまとめる。
1:30:04	資料になってて今ちょっと開いてますけど、
1:30:08	確かにすごいですね。
1:30:11	はい。
1:30:13	すごい名称の木場笠田って、何かアオキ沿って、いやこれ1個ずつ見せられたなっていうところのリンクもあるので、補足説明資料、
1:30:24	どんなところですか。はい。
1:30:27	はい。補足です。ちょっとそもそも発電炉の方が補足310っていうの2、集約されて、
1:30:38	その3市での数字はよくわかりませんが、けっきょく。
1:30:43	溢水防護全体をまとめる補足説明資料となっていてその内数での章番号、細かく書いてあるので、
1:30:53	それをそのまま持ってきちゃう等、
1:30:59	実用炉と違う小分けになってんじゃないかっていうことに逆になっちゃうんですよね。
1:31:04	やっぱなんかね、やっぱり再処理でやってることがおかしいんじゃないかなあという。
1:31:11	いややろうとしてるのはおかしいんじゃないのかなということかと思えます。
1:31:16	アノっていうのもう。
1:31:18	パラメータの設定であれば、共通で設定方針があるはずで、

1:31:23	共通の方針説明します個別にこれを説明しますって分けられてもですね、とても見にくいので、関連するものはまとめて説明をするようにしていただきたいというふうには思います。
1:31:36	その時の一つのパラメーターでしかないのかなというふうに思っているので、はい。整理をしてください。
1:31:45	はい。日本原燃の高井でございます。はい、承知いたしました。
1:31:51	規制庁ヤマグチです。どっか 4 ページまでに規制庁側から何かありますでしょうか。
1:32:00	規制庁コサクです。
1:32:03	ほぼ先ほど言ったようなことになるんですけど、このルー
1:32:07	23 紙ってなってるのは、項目として挙げるようなものじゃなくて、①なり何なりっていう全体の作業の中での例示でしかない。
1:32:18	ということだと思ってます。なので、都度資料 2 で資料 3 でとかって言う必要もあんまりなくて、
1:32:26	ちゃんとどういう使い分けをしていくつもりなのかっていうことのを、
1:32:32	認識をするということが大事なんだろうなと思います。その上で、
1:32:39	資料 2 で、ポイントになることの例示として、想定破損がとか何とかっていうんであればそういう例示はしていただいたらいいかと思います。
1:32:52	はい。原燃の高井でございます。はい承知いたしましたまさに 202 番から 11 番まで個別の話になってしまっていますので、そこは 234 というところ。
1:33:03	整理するなりそもそも 2 から 11 というのを整理するということでは、承知いたしました。
1:33:11	はい。補足です。一方で、挙げられてるのがですね、項目ごとに想定破損だったりプールの話だったり、屋外の溢水減だったりというようなことで、
1:33:22	押さえるポイントのワードとしては、的確に書かれているかなというふうに思いますので、
1:33:30	整理をいただいたらわかるんじゃないかなとは思いますが、最初の文章だけじゃなくて、矢印のところの、特に括弧書きで書いてあるようなやつがポイントになっているところが多いかなと思うので、
1:33:42	そういったところをしっかりと抜き出していただければ、認識は合ってくると思います。
1:33:53	はい。

1:33:54	荻野高屋でございます。はい、ありがとうございます。はい。そこを含めて、整理させていただきたいと思います。
1:34:02	規制庁山口です。ちょっと他 4 ページまでで規制庁側からありますでしょうか。
1:34:11	補足です。
1:34:15	サイト確認なんですけど、例えば 2 ページの②で網羅的に設備を抽出とかっていうようなことがあって、先ほど
1:34:26	説明すべき項目だけじゃなくて設備なり分類ってのありますよねと。
1:34:31	ということの話をしましたけど、
1:34:34	タスクとしてはどういうふうに変えてくかとかかっていうのはイメージ今ありますか。
1:34:43	はい。日本原燃の高谷でございます。まず
1:34:47	孔口の個別タスクで記載するところとしてはその申請対象設備の中で、評価対象設備と言われるものに対する設備を抽出します。その中から、
1:34:59	それに付随する可能性のある附属機器っていうものが何があるかっていうところの考え方を整理します。その上で附属機器に対して、
1:35:11	どうそれは抜けなく、抽出できるかっていうところ、そこに系統図とか、他の資料とかも含めて、手段というところを整理し、
1:35:22	するというご説明をしようというふうに考えておりました。以上でございます。
1:35:27	はい、規制庁コサクです。やるべきことは認識されてるようなので、
1:35:34	あとあれですかね、部、
1:35:37	タスク分けて書いてくってという意味であれば分類のす。
1:35:41	整理なり何なりというところでそういうタスクをまとめられるってことですかね。
1:35:50	はい。人間のタカヤでございます。はい。すそ野の内容というところでははい、大瀬の通り分類のところ紐づくんだとは考えております。
1:36:01	はい、古作です。わかりました。
1:36:04	今お話しただけのようなことだとすると、なぜそれが欠けてなかったのかってところが、
1:36:13	ポイントかなと思いますので、今日あんまりそこフカホリはしませんから、社内では社内なり或いはSteeringチーム内で話をさせていただいて、
1:36:25	しっかり対応方針を求めていくというときに
1:36:29	展開をしていただければと思います。
1:36:31	以上です。

1:36:34	はい、井上野中でございます承知いたしました。
1:36:38	慎重ヤマグチです。どっかよろしければ、
1:36:43	藤。
1:36:44	ページ目で、
1:36:47	なんですけども、
1:36:52	個別タスクとして挙げられてるところ、5 ページ目からあって、
1:36:58	2 番の、ちょっとすロス。
1:37:01	プールの件について確認したいんですけども。
1:37:05	と、
1:37:08	一つ一番上の矢印のところでも、このスロッシング評価の評価条件としてっていうことに、で説明されてるんですけども評価条件からの整理っていう、
1:37:20	下、始まっているように読めて、前お伝えした通り、まずはそのDBSAそれぞれにどういう要求があるのか。
1:37:29	それ踏まえて、どう設計するかの考えがあって、
1:37:33	許可整合とも嘉門も含めてですけども、その上で、プールとしての機能維持と、あと防護対象設備の機能維持としての妥当性確認として評価があるっていう流れになると思うので、そういったところ
1:37:48	認識をされてると思うんですけど整理様。
1:37:52	お願いします。で、
1:37:54	そもそもそのスロッシングによる溢水量の歳出において、DBSAそれぞれで、
1:38:02	対策設備ここでいうと、蓋とか、5 番っていうのになると思うんですけども、
1:38:09	それぞれ溢水量の算出で期待してるものが結局何なのかっていうところが、まずわからないんですけど、その辺りってどう間設計考えてるんでしょうか。
1:38:26	はい。日本原燃の高井でございます。こちらの方きちんとご説明できないところで申しわけなく思ってますが治水、ご質問の趣旨としては、止水部だとか止水版というところの、
1:38:40	設置場所と、それでどこで期待してるかということと、あとは戻りの流量を考慮してるか考慮しないかと、というようなご趣旨だと認識してます。
1:38:50	まず、ここで間違っていればちょっとご指摘いただきたいんですが、
1:38:54	間違っていなければ止水豚については、一部取り外しを行って、状態でも、今設置している蓋だけで

1:39:04	スロッシング量の評価を行い期待をしているというところです。1 スギタは常時ついておりますので、その止水板についても考慮している、上戻りの流量については考慮しないという、
1:39:18	想定で許可との整合等も含めて戻るように、
1:39:23	期待しないという状況でございます。
1:39:26	ご趣旨合ってますでしょうか。
1:39:29	先週ヤマグチですちょっと若干広かったんですけどまずそのふた通し水た溢水量の算出において期待してるのかっていうところで、
1:39:40	一部設置してる蓋は考慮してあと止水版は、
1:39:45	常時あるから、考慮しているってことなんですけど、その蓋は申請時から、
1:39:52	1、
1:39:53	設置位置っていうのは何か考え方を考えてると思うんですけども、
1:39:59	それでその一世量の算出溢水量に影響っていうのはないんですかね。
1:40:11	コサクですと、溢水量には当然影響はある。
1:40:16	ところだけど、見込まずに、許可なりなんんりの条件を満たすようにしますと、というようなことだと思うんですけど、そもそもが、何を守らなきゃいけないのか、どういう方針のもとに設置するのかっていう、
1:40:31	上流との関係をちゃんと整理をしてくださいねっていうのが、
1:40:35	ポイントだったんじゃないかと思えますけど山口さんそれでいい。
1:40:39	はい。
1:40:41	底がコサクです。それで言うと途中で許可性能のようなことも言われて、
1:40:47	板野認識はしてるような気はしますが、
1:40:52	この対応方針だと読めない。
1:40:54	かなと思うので、どういうふうなプロセスで説明していくのかと。
1:40:59	いうことをまずわかるようにしていたダークじゃないかなと。単純に対応予定日 10 月中旬って言われてもですね、何が説明されるのかっていうのがしっくりこないんだろうなと思います。
1:41:12	アノというのも、これもこれまでの 2 年半、或いは許可も踏まえると、
1:41:20	4 年 5 年といったところでの状況として、
1:41:25	細かな説明はいつもちゃんと
1:41:28	いっぱい出してくるんだけど、上流からの流れがないので、バラバラとしていて全体がちゃんと整理をされた状態、一気通貫した説明になってるのかっていうのがわからないって聞いてみるとずれがあると。

1:41:42	というようなことが多いので、ちゃんと上流から流れた説明をしてください ねと。
1:41:48	言う古藤なんでその点を認識をして整理をいただきたいと思います。
1:41:57	その点妥当、3行目に3次元流動解析を行ってあるけど、
1:42:02	これの扱いはっていう話もあると思うんですけど、藤原さん成宮さんなり どうぞ。
1:42:09	はい規制庁のです。
1:42:12	よろしいですか。どうぞ。
1:42:14	はい。ちょっと細かい、それを振っていただいたのは、今回計算実験解 析の話なんですけど、SM時には、
1:42:21	評価においては30円解析以外にも別の評価を用いたりすると思うんで すが、そのことも踏まえた上でこの記載では3次元解析のことだけを 記載しているんですかという確認です。
1:42:39	はい。日本原燃高谷でございます。主少々お時間いただければと思い ます。
1:42:56	はい。荻野高井でございます。この場で具体的にちょっとご説明する というよりはSEも含めてですねその評価というところ上流からの説明を 踏まえて、
1:43:09	整理をしたいなというふうに考えております。
1:43:12	以上でございます。
1:43:16	一応、私の質問の意図としてはこの記載をするときにその上流側を考 慮した上で、この記載としてるのかってということだったんですがもうちょ つとその説明はいただけなかったように思うんです。
1:43:27	今後整理した上で説明するということだと、認識しました。よろしくお願 いいたします。
1:43:33	はい。いえ、日本原電の高井でございます失礼いたしましたこの表現 について、
1:43:39	ちょっと考慮できているとは言えないので、そこも含めて整理をさせて いただきたいと思います。よろしくお願ひします。すいません。セガワって そっちいいんだっけ。
1:43:50	います。
1:43:52	SAの原発で言ってるスロッシングへの燃料プールから水が出たとの、 通常水位イマイは0.8メートルだっけ。
1:44:02	あれになってるって。

1:44:04	山林解析、これ速度ポテンシャル法とかですね、具体的な方法ですね、3次元じゃないです。
1:44:14	ないよね。はい。では奥さんのご質問多分それと、それも含めて扱いどうするんだっていう趣旨。
1:44:23	ですよ。そうですね。
1:44:27	だから、書き方を限定しちゃうとそれしか使わないし、本当にそれでいくんですかっていう。
1:44:33	概略、D判定基準を多分-0.8メートルでそのままそのあとに書いてんだけど、
1:44:39	これって多分、解析で言って3次元流動解析ともっと違うし、これまともと比較しても意味ないよねっていうところも含めて、どうするつもりですかっていう質問だと思うんだけど。
1:44:50	そういう意味でいくと、高谷さん、弱震だ
1:44:53	エスエイチ含めてみんなで頑張りますはいすいませんはい。
1:44:59	あ、規制庁ですよろしくお願ひします。
1:45:04	とコサクです。今の点は理解いただいたと思うんで、
1:45:09	方針とかが整合してますか云々とかだけじゃなくて、ちゃんと根拠として示したことがどんなことがあって、それとの関係でどうなのかってもし違うものがあつたんだつたら、違っても、
1:45:22	理由とかですね、
1:45:26	何を担保しなきゃいけないのかっていうことの考えとかを整理してもらわないと、整合してないんじゃないかっていう疑念が払拭できないので、そういうところまで含めて考えてください。
1:45:38	特にSAについては、添付6だけじゃなくて添付8もあつてということなのでその点十分。
1:45:47	認識をしてということで、その点ではS営農関係での00でのヒアリングで、その点を検討して、
1:45:58	2ヶ月3月していたかと思ひますので、そういったところの対応も含め、現状のタカハシ基本設計方針だけだと見えないんですけど、00でもうある程度話してるから、
1:46:10	それを踏まえてこちらでどうするかということで展開いただいたらいいんだと思ひます。瀬川さんよろしくお願ひします。
1:46:18	はいセガワで表記いたしました。
1:46:21	コサクですでちょっと

1:46:23	5 ページ 6 ページでも確認先ほど個別タスクとかって言ってたところの関係なんですけど、
1:46:30	①も②も、
1:46:33	個別というかそもそも共通 12 で整理をすべきこととして、あれ、一番であれば、設備抽出という先ほどお話をしたことになりますし、
1:46:44	②であれば説明すべき項目ということに関係してくるし、ということなんで個別なんだろうって思ったりもするんですけど。
1:46:54	2 番については
1:46:58	変更点があって、事前に話をしておきたいという趣旨があるということは理解をスルー。
1:47:05	んですけど、どういう趣旨でこれ個別って言ってるのかって、改めて説明いただけますか。
1:47:17	はい。人間のタカヤでございます。今抽出した内容というところについては、共通 12 の整理の中のM1 分だと考えているのですが、
1:47:30	例えば一番であればですね資料 1 にも関わる網羅的な抽出方法というところで、234 の関連とあわせ、
1:47:42	もう事前に整理しておくべきだということで、
1:47:46	上げました。2 番は変更点があるからです。3 番、水間大坂です。今の説明だと、やっぱり個別っていうところが混乱しているっていうことだと思います。
1:47:58	先ほど 4 ページまでのところで設備注水について整理を一つ足すくうサブタスクとして挙げるようにと。
1:48:06	上げるということであれば、この一番はそれに吸収されると。
1:48:11	ということだと思います。
1:48:13	2 番についても、説明すべき項目、話の中で、ピックアップされるということだと思ってて、
1:48:25	そうすると、当然蓋の設置位置なり、取水盤の設置云々という関係は構造設計ということになるので、
1:48:36	資料 3 で展開をしますと何とかアダチということになる。
1:48:42	はずと。
1:48:43	いう時に、特に
1:48:47	許可から
1:48:49	設計を変えた。

1:48:51	部分については、事前に先行して説明をさせてもらいたいということで、対応方針に少し付記し、対応予定日のところは、共通 12 でという前に、こういうことはやりますということで、ピックアップされる。
1:49:08	ということだと思いますけど、いかがですかね。
1:49:16	はい。イノウエの高谷でございます。ありがとうございます。まさに個別で事前にちょっと変更点というところをご説明したいなというところで個別タスクを挙げさせていただきましたが今おっしゃっていただいた方法ということで
1:49:30	ご説明できるということで、そうさせていただきたいというふうに思います。
1:50:05	院長山内です。
1:50:08	どっかプールのところまで規制庁側からございますでしょうか。
1:50:16	よろしければ、
1:50:19	あと、続いて 3 番のところなんですけども、
1:50:23	ここで一番上の数で保守性を考慮した設定となっていることを説明するってなってるんですけども、ここの項目としてはその保守性がど、
1:50:36	どこが論点になってるわけじゃなくて、そもそも屋外に排出性する溢水について、岩井水源として何を設定しているのか、溢水量はどう。
1:50:47	算出してるのかっていうこと。
1:50:52	うまいってのはそれでどう評価しているのかっていうの整理が曖昧だったので、確認したいってところだったと思うんですよね。そのうちの
1:51:01	内数として、特に実用炉の例。
1:51:04	で実施してる局所評価について再処理の方は不要ってしてたと思うので、その考えを確認できればと思ってたんですけどもその辺りの認識、いかがでしょうか。
1:51:16	はい。日本原燃の高谷でございます。はい。もうおっしゃる通りでございます保守性を考慮した設定というところ、いろんなコメントリストのナンバーをごっちゃにしたためにこんな、
1:51:28	記載になってしまい、曖昧になってしまったなというふうに思っております。さらに屋内からの屋外からの水源が屋内にどう入るのかいう溢水量とか、実用で、
1:51:40	無料でやっている局所評価というところがなぜ不要なのかというところの説明とか、そもそも屋外の水源の整理というのがきちんとできてませんでしたというところの説明とかを、個別にやるべきかなと思い個別対策として挙げさせていただきました。はい。以上でございます。

1:51:58	規制庁山口です。
1:52:02	岡伊井の方の線がそもそも何かっていうのが、
1:52:07	今のところ申請書とかでもうわからなくて、そういったところは確認できればと思ってます。
1:52:22	補足です。先ほどと一緒にではありますが、関連性のところ 1-305 ですってということなんですけど、何が違うんですか。
1:52:46	はい、日本へのタカヤでございます。おっしゃる通り中身は、はい。全く同じでそれをぜひできるだけ詳細に説明していくべきだという考えしかありませんでした。はい。
1:52:59	ですので、個別タスクで説明する必要があるのかというところは、
1:53:04	古作です。それで言うと、⑤のところ
1:53:09	事実対応予定日最初 10 月下旬資料 2 ってなってますけど、その前に、個別個別というか事前に整理をすべき事項として、
1:53:20	9 月下旬にこういったところは話をしておきますという、
1:53:24	ことで統合されるって思えばいいですかね。
1:53:29	はい。日本原燃の高でございます。はい、おっしゃる通りで 9 月下旬の方にはその詳細ん事前にご説明をさせていただくということで対応方針の方にも記載したいと思えます。
1:53:41	はい。コサクですわかりました。そうするとですね、5 ページの、
1:53:45	3 番で書いてある古藤がどれがその事前なのか。
1:53:50	ていうのがよくわからなくて、
1:53:52	矢印二つ目は共通上に資料 2 に紐付けて補足説明でとかって言って、共通 12 の段階或いはそのあとみたいな感じになってますよね。
1:54:03	ということ。
1:54:04	その下に書いてあるのは 00 云々と言ってこれだから、共通 12 の後ですよ。
1:54:12	ということ作業は社内ではやっていってるってことだと思いますけど、提示は後だよということになってるってことで、
1:54:22	事前にやる範囲なり、内容ってのはどういうことですか。
1:54:35	はい、日本原燃の高井でございます。今考えていたところとしては、屋外の溢水元の機器をどうやって網羅的に抽出するかというところ。
1:54:48	矢印の二つ目で書いてあるところについては、申請対象設備とかにも含まれていない設備があるために、その設備が紐づくように、資料 2 で紐付けますよということを説明しているものになります。
1:55:05	ですので今回はもう機器を網羅的に抽出する考え方と、

1:55:10	この溢水量の設定というところの考え方をご説明しようと思っておりました。
1:55:17	古作です。
1:55:21	ちょっと大丈夫かどっかがピンとこないんですけど、
1:55:26	資料2で紐づけるというのガー。
1:55:31	どんなものなのか、それをどうひもづければいいかって言うのは、ある程度具体例を示していただかないとな、理解ができないかなと思うので、
1:55:43	網羅的に抽出する方針だけだと、多分無理があるんじゃないのかなと。
1:55:48	思います。
1:55:51	これから建設するわけじゃないので、
1:55:54	具体的にこういうものがありますと言ってもらった方が早いんじゃないかなって感じがしますし、そのうち
1:56:03	申請対象設備にならないものがどれで、それをどういうふうにしていくかと。
1:56:09	いうのを行っていただいた方がいいんじゃないですかね。
1:56:17	はい。植野タカヤでございます。ありがとうございます。ではそこについては具体的な設備というところと、どうやって紐づけていくかというところのご説明をさせていただきたいというふうに思います。
1:56:31	はい。補足です。一方で保守的保守性を考慮した設定とかっていうことであって、その設定の仕方によってどの程度説明しなきゃいけないかっていうことにもなると思いますから、
1:56:44	ある程度そ、そういうの説明も踏まえながら、こういうふうにしていきたいということ、方向性示していただければと思います。
1:56:56	はい。日本原燃の高でございます。承知いたしました。
1:57:03	市長山口です。
1:57:05	あと、続いてずっと4番なんですけども、これ、
1:57:09	何2を説明しようとしてるのかっていうのがちょっと見えなくて、
1:57:16	設工認全体としての条文で説明するのか整理する、条文の関係を令和結局のところ共通12で、
1:57:25	示していくのかなとは思いますがその前段階としてこう何か説明したいっていう、そういう趣旨であれば、その具体。
1:57:37	どういうことを考えてるのかっていうのをもう少し補足いただけますでしょうか。今口頭で。
1:57:43	お願い。

1:57:45	はい。乳井の阪井でございます。本日のはい。ヒアリングを受けて、対応方針とか、整理するにあたっては、
1:57:54	今、なぜ、もうここに挙げてるのかっていうのがもうわからなくなっていて、皆様にとじ込み条文とか溢水条文の関係とか、まさに共通順位でやるべきところですので、
1:58:05	事前に今説明したいということは、特段ないかなというふうに考えております。すいませんコサクです。
1:58:13	そ、そうなのかっていう気がするんですけど、ここまでのやりとりからすると、
1:58:19	個別タスクとして今書いてあるやつは、何らか共通 12 を作るにあたって悩み事項があると。
1:58:27	いうことだったり、或いはその変更点があって、事前に言っときたい。
1:58:33	共通中に蓋開けてからなんじゃこりやってならないようにしたいと。
1:58:38	言う古藤なんだろうなと思うんですよ。
1:58:42	そうだとする等、
1:58:45	まず一番は、
1:58:48	申請対象設備以外にもう設備として、
1:58:52	説明が必要なものがあって、中、どういうものがあるか、それをどういうふうに示したらいいのかっていう論点があると。
1:59:00	いうことだったと思います。
1:59:02	2 番をその止水版蓋っていうのが、変更があるからという、これさっき話したところ、
1:59:09	3 番、もう屋外の溢水件っていうのが申請対象設備じゃないものがあるので、それをどう示したらいいのか、それをその設計担保っていうのが必要なかないのかによって、資料 3 に入れるのか言えないのかという議論があるので
1:59:24	事前に話をし、整理をしておきたいと、いうこと。
1:59:28	ていうことであつたと思います。そうすると 4 番は何かっていうと、閉じ込め条文と利水条文の関係についてと書いてある通り、一斉条文じゃないよね。
1:59:39	ていうことだから、資料 2 では、違う場所ですと、
1:59:44	いうことを確定させたいんじゃないのかなということで、一方グループとしては、設計説明分類の中での説明項目の、
1:59:55	関連条文に入れますということなのか、どう、どういう扱いの中説明グループで一体として説明する形にするのかと。

2:00:03	いうところの取り扱いを整理をしたってことじゃないかなと思うんですけど、それはやっぱり共通 12 を作る前にやらないと、
2:00:12	いけないんじゃないかと思いますがそこはもう整理ついてるんですか。
2:00:24	はい。農芸の高谷でございます。
2:00:27	はい。
2:00:28	ご説明いただいた通りかと思って、本当にありがとうございますまず、まさにとじ込み条文とイスイ条文の関係というか、整理をした上で、資料 2 というのをひもづけるということになると思います。
2:00:42	その考え方が整備をし、した際にはご説明した方が良かったというところで今個別タスクが挙げましたが、
2:00:52	それ、それをこちらで決めれば良い話でもありますし、整理中ですのでちょっとこの個別タスクに上げるか、はい。迷っていますので、社内で検討したいと思います。
2:01:06	コサクです。ちょっとまだよくわかんないんですけど、
2:01:12	ここでMOXでの整理を踏まえてなんですけど、も複数の説明分類の作り方グループの、
2:01:22	まとめ方っていうのは、昨日の意識してやって再処理の方は変更点ということを中心にやっていくということなので、
2:01:33	結果としては違ってくるはずなんですよ。
2:01:37	支店、
2:01:40	方法論は一緒なんですけど、支店がその点で違うことから結果が違うということで、
2:01:47	必ずしもMOXと同じ形になるわけじゃないと思いますし、MOXの場合はその水があまりないので、その点でもちょっと状況が違うと思うんですけど。
2:02:01	人間ニシダです私の御を持ってるっていうか
2:02:06	こうだろうなと思ってるところでまず話をしますと、多分ここで言いたいのは、こっからブルーの設計を当てにして、
2:02:15	別表の条文で、こういう設計を展開してますよという条文間のやりとりのところを、MOXでの、例えば、閉じ込めと耐震とかの関係を見ながら、
2:02:28	同じように整理をしていきたいなということで、ここは変えたんじゃないかなと思ってます。ただもう一つは再処理の場合綴じ込み上部へ変更なしになった時に変更等分、
2:02:40	大枠の建物の境界なんかについてせえ施設外漏えいですかね、ああいうのが溢水の管理区域境界での漏えいにも、

2:02:52	正しく閉じ込めで設定してもそのまま使えと、新たな要求が加わるわけではないっていう場合にじゃあどう書きましようかねってところの工夫だけなんじゃないかなと思っていて、そういうところを事前に、
2:03:05	整理をして書き方、リンクの取り方だったり、変更の条文についての、今回の設工認での説明対象の範囲というか、というふうに整理をするかというところがやりたかったんじゃないかなというふうに思ってます。
2:03:25	古作です。今の話でいうと、設備として積としてですね、
2:03:34	機能を、両方の機能があるものがあるのかないのか。
2:03:40	ていうのがまず事実関係として整理をし、してて、説明いただく必要があるかなということと、
2:03:51	それを踏まえてかもしれませんけど、せえ。
2:03:56	とセツ日登録ワーするものだと思うので、設備としてどっちの積かみたいなのは、
2:04:07	出てくると。
2:04:09	その時に、設計説明分類まとめるのかどうかと。
2:04:15	いうことがあって、まとめるのであればおのずと
2:04:21	資料にはそれぞれあった上で資料3では、
2:04:25	両方の要求を踏まえてこういうふうにしてますっていう資料3の作り込みになっていくと。
2:04:32	いう。
2:04:33	ことほぼ自明だから、ちゃんとやれますよと。
2:04:38	いうこと等、
2:04:41	になるかなと思いつつ、
2:04:44	別ですってなった場合にワー
2:04:49	分類も別だし、だから説明もそれぞれだしてなると、
2:04:55	それでいいかっていうところの相談事項になるっていう気がしますがけども、関係でどうなんでしたっけ。
2:05:10	できるってか、
2:05:12	多分ごめんなさい高安は私がしゃべったことであってたら当てないからどっち。
2:05:17	宮武です。はい合っております。衛藤、今、ご質問があったまず設備として積としては権威へと、いわゆる閉じ込めと溢水で兼用しているものがあります。
2:05:31	で、
2:05:33	わかりました。そうする等、

2:05:36	兼用してるところを一体で説明しなきゃいけないとっていうことではあるので、そうすると
2:05:45	あれ、兼用してないものについて別でやるかっていうとそれもあほらしいので、分類の中に、
2:05:53	全部入れて一体として説明してきますので、その中で差分があれば、ここはこっちの方だけですとかっていうのわかるようにしていただくっていうことですかね。
2:06:07	はい。日本原燃の高井でございます。今はいい。頭の整理としては、おっしゃっていただいた通りかと思っております。
2:06:15	はい。不足ですわかりました。そうする等、事前に確認はしたいところですがそれって共通中に本体の設計説明分類なり
2:06:27	説明グループでそのときに、明示される諸条文関連条文と、
2:06:33	いうことで読み解けるんじゃないかなと思いますけどいかがですか。
2:06:38	先ほど出てきた資料で、どうなってるかまだ見てないんですけど。
2:06:47	はい、日本インダでございます。はい。説明グループの中で各分類体積、
2:06:54	何をどこで説明するかっていうのを書いているので、
2:07:00	出すと私が言うのはですね、できるはずですよ。
2:07:24	今、今日出した共通 12 っていう言っヒライてみ
2:07:29	たりできます。
2:07:43	それで、関がここに書いてありますみたいな、この、この後数ですなり、
2:07:48	あると。
2:07:51	いいんですけど、
2:07:54	でもあれかどうか、内的、
2:08:02	設計、
2:08:08	これは、
2:08:09	一番左は、
2:08:11	説明グループで、
2:08:13	今私は 11 ページを開いて、
2:08:17	41 ページで説明グループ 2 番で、内的事象溢水薬品、
2:08:24	D、
2:08:26	D、
2:08:33	対策設備のところは、

2:08:41	トイレ関連の部分が、地震関係の医薬品重大事故だけなんですけど、アイコムがないですね、っていう感じ。はい。
2:08:52	出したところからクラスしましたよね。
2:08:57	はい。こういうところのケアをどうやるかってところを、そうですね、説明をしないといけないんで、
2:09:07	このタスクを整理をするってこと、整理が正しいっていうことをこれで、ある程度いけそうだって目鼻をつけるためにも、
2:09:16	素行も題材にしながら、こちらで説明を考えます。かつ、これが足りないのも明らかなんで他もちょっともう1回見たいと思います。はい。
2:09:28	はい。補足です。これ作るにあたっては、資料一位で関連条文がつけられていて、
2:09:39	それは引っ張ってくるだ形なので、はい。付けと、その説明を行う関連条文なのか説明しなくていいのかといったところの仕分けのところ
2:09:50	変更点じゃないのと言って落ちちゃったということじゃないかなって気はするんですけど。
2:10:00	何だろう。
2:10:02	変更前後的な関係で、やはり説明は必要だと思うので、す。
2:10:08	この説明を行うの方に入れといていただいたらと思います。もしそっちでもなかったらちょっと問題なんですけど、
2:10:17	はい、与儀西田でございます。はい。
2:10:21	先ほどの一層の積っていうん通り線と、建物の中、建物構築物のみん中に入ってる世界を駆みたいなのがもともと閉じ込め要求だと、今回、
2:10:35	閉じ込めだけだと三角でピックアップされずにほったらかしになるのは困るので、それに、SNPもかぶりますよっていうんであれば、イセにもちゃんと丸が打ってあってそれをピックアップして出てくるということなのかなと仕組みとしてはそうならないといけないでそういうふうに、
2:10:52	展開するものと思っておりますのでそこも含めて、全体見た上で整理をしたいと思います。はい。
2:11:00	はい。コサクですよろしくお願いします。それで言うと今の、
2:11:04	ところそういう配慮をしながら説明する、関連条文として説明するしないといったところの、三角だからしないということじゃなくて関連するものは入れますっていう。
2:11:19	ようなところの仕分けの考え方を整理するという
2:11:25	この部分での具体作業ということでちょっと

2:11:28	もしかすると共通中に、
2:11:30	の全体の対応方針かもしれませんが、対応いただければと思います。
2:11:38	はい、吉田でございますはい。今の溢水に限らずだと思imasのではい 今日トイレ状態での対応方針、ケアができるように、
2:11:56	古作ですちょっと今音声がかれてて、
2:12:01	ぜ共通上には全体でケアというところで切れちゃったので、はい。
2:12:08	日本原燃伊勢でございます聞こえますかね。今聞こえます。すいません。はい。本体の方でケアをしていければと思います。はい
2:12:18	あと10分ぐらいでっていうかもうすでに出て来るかもしれないので、今日出すものには反映できないと思いますけどアサノ、午前中の進め方部屋でそういったところのケアも含めて、
2:12:31	お話ができるように、準備させていただきます。はい。
2:12:39	規制庁山内です。
2:12:42	藤他5ページ目まで設置位置はございますでしょうか。
2:12:48	疼痛。
2:12:50	続いて、6ページで、5万なんですけどこれも個別タスクとして挙げられてるってことでこれもさっき個別タスクとして挙げてる主旨っていうところを原燃から説明お願いします。
2:13:06	はい。上野高井でございます。個別タスク5番につきましては、更新の変更というか方針の変更を検討するということでございます。
2:13:17	何かと言いますと漏えい検知系につきましては前回ヒアリングのところでは運転監視とかで受けるという形で言ってましたが、具体的に、溢水をどう検知していくのかというところの整理というのを改めてしたいなというふうに思っております。
2:13:34	その中で漏えい検知衛藤液位計というところを期待するかどうかというところの整理もしたいと。それを加えると検知、隔離というところの手段があるとですね。
2:13:46	これまで原則アクセス通路部については、つつ、
2:13:51	設けないという方針で今、ここ期待しないということで動いておりました。ただ、その中でアクセス通路部分の必要性というところ、あとは原則も含めた、そのアクセス通路部に期待する場合の雨水の基準と、
2:14:08	いうところも合わせて全体を整理したいなということで、個別タスクを挙げさせていただきました。以上でございます。
2:14:16	規制庁山口です。

2:14:19	頭終わりました。漏えい検知金マツノ申請体が設置が今ないわけですが、
2:14:26	期待する設備として、
2:14:29	あるのか、頭がそれってあれば溢水がヶ年石野条文要求としての整理がされるってということだと思うので、
2:14:38	個別で説明するってということで、
2:14:42	返しました。
2:14:45	あとコサクです。今の話でいうとあれですか、漏えい検知器液位系ってというのは、設備抽出されてないってということですか。
2:15:05	主査。
2:15:07	日本原燃高井でございます。ちょっと発言、言葉を含めてちょっと整理したいと思います。1分ほどください。
2:15:45	爾見駒田様。
2:15:47	物質の漏えいの漏えい。
2:15:52	いす。
2:16:05	はい。日本原燃の高谷でございます。
2:16:07	回答としましては指針性状溢水として期待する、漏えい検知とかA系というのは抽出していないというのが回答でございます。
2:16:17	もちろん他のゆ条文というか他の要求で、検知とか上げてるものがありますが溢水としては抽出してないという状況です。
2:16:30	はい。コサクですって。そうすると
2:16:34	淡々とやると共通上には出てこないっていう感じになってくるけど、それで大丈夫なのかっていう、何でかっていうことを説明をすると、
2:16:45	ということなので、
2:16:49	個別にならざるをえないのかなっていうのは、確かに
2:16:53	理解。
2:16:55	もうできる場所ではありますけど一方で先ほどの漏えい元みたいなのところも含め、申請対象設備には入らないけどといったところをどうするのかっていう、
2:17:07	論点には入ってくる。
2:17:09	ところでもあるので、そこで紐付けをしつつ、個別具体の説明をしていくと。
2:17:17	ということで進めていただければと思います。
2:17:23	はい。大江元タカヤでございます承知いたしました。

2:17:32	これ、ドイヤマグチです。
2:17:35	接スレーター関連してっていうことで、
2:17:40	ここは6ページまでで、規制庁側からございますでしょうか。
2:17:48	ページに限らず、本資料全体を通して、規制庁側から何かありますでしょうか。
2:18:01	うん。
2:18:05	規制庁コサクです。6番は個別タスクでわざわざ挙げてるのは何ですか。
2:18:11	はい。日本原燃の高谷でございますアノせ、郡スタッフの運用がバラバラで申し訳ないんですが、これはもう備忘として申請書としてんの中できちんと記載をしなければならないという備忘録だけでございます。説明。
2:18:26	対象とか個別建てというのは、
2:18:29	私は原燃社内の個別タスクでございます。以上でございます。
2:18:39	岩月。
2:18:46	規制庁オカです。個別タスクまず
2:18:49	この対応方針的にはどういうふうに扱われる。
2:18:52	感じでしょうか今日の議論を経て、
2:18:58	はい。日本原燃の高井でございます。あくまでもここは申請書及びイシイの共通0001というところの別紙とかそういうところの整理も含めてということになりますので、
2:19:12	まずは共通12の整理をしつつ原燃社内では同時並行で整理をする中で、共通順位が、議論が終わった後に申請書とともにお示しするのだろうというふうに思っております。
2:19:25	そのため、対応予定としては調整中させていただいております。規制庁佐田です。聞いていることが違う。
2:19:34	また見直されるという。
2:19:37	あとね、その方針なんかは今日議論されましたけど、
2:19:41	この個別タスクはどのように
2:19:45	表現していけますかまずはこの対応方針書の中で、
2:19:51	はい。日本原燃の高谷でございます失礼いたしました。この子個別のこの対応方針をどう記載していくかというところのご質問だということで、
2:20:02	今までの流れが、ちょっと個別タスクというふうに置くよりは、2番の個別の
2:20:08	本体のですね4、4ページのところの2ポツのところ、
2:20:13	の記載方法を検討したいなというふうに思って、

2:20:17	ています。記載する方向で検討したいと思っております。コサクです。4ページの2ポツもいらなくてですね。うん。これは前回のヒアリングでも言いますが、一発オクアノようだよなって話。
2:20:31	今回5ページ6ページでは、他のタスクとの関連性ってということで1ポツ3を全部リンク張ってるんですよ。
2:20:41	なので、そこに統合すると。
2:20:44	いうことであって統合して、統合してる先では、共通12が先頭バッテリーになっちゃってるんですけど、その前の対応として、
2:20:56	入れていくと。
2:20:57	そのときの対応が何かっていうのを対応方針の中に少し具体的に書かなきゃいけないしと。
2:21:03	いうことで整理をまとめていく際に、だからですね、2ポツ、
2:21:10	はい。
2:21:11	1ポツ3だと⑪までありますけどそれも個別いらないってということで集約されていた際に、
2:21:18	集約し過ぎ、こっちすぎると、この今個別って書いてあるやつが見えなくなっちゃうので、それが見えるぐらいのものでも書いて聞いて対応方針として、
2:21:31	まず、事前ということでやらなきゃいけないことっていうのを明確にし、それを対応予定日5日ということを書いていくと。
2:21:41	いうことだと思います。
2:21:44	その時に、
2:21:47	他のタスクとの関連性っていうのは、
2:21:51	個別等その前ランドということではなくなってくるんですけど、先ほど言ったようにセ説明すべき項目っていうところのタスク等、
2:22:01	SADBっていうことの関係等とか、或いはその設備抽出という関係というその並行しているタスク間でも関連することがあるので、
2:22:12	そういったことを明示していただくっていうことになるのかなと思います。
2:22:17	あとは共通12の対応方針との関係とかっていうのもあると思いますけど、
2:22:24	先ほど言われた個別の6番みたいなものは、そもそも個別、それぞれのタスクの中で、共通中にいや、今の部分、
2:22:37	事前にやること、共通所にでやること、それも資料1、237とあって、それに踏まえて、00に反映すること。
2:22:49	補足説明水路で対応することと、

2:22:53	というのが分かれていくはずで、それが対応予定日に一通り入っていく中で00、
2:23:00	#NAME?
2:23:03	2 だったり、3 だったり、こうだったり、
2:23:06	4 だったり、
2:23:07	ということになるんじゃないかなと思います。
2:23:13	はい。日本原燃の高井でございます。ありがとうございます承知いたしました。今個別登録で書いているところの記載についてははい。111-3を中心に全体ではい。
2:23:25	和気小橋という形で上整理をしたいと思います。
2:23:33	規制庁岡です。あともう1点だけ、今日もちょっとあったんですけどサンプルとして今後1-3で挙げられた1、1.3のところ少し、
2:23:45	例示として挙げられていくときに、またG作業みたいなものを、
2:23:50	表現を簡略化していくような作業が発生すると思うんですけど、
2:23:54	先ほどの
2:23:56	雪害の関みたいはそのキーワードが抜けてしまうような、
2:24:01	ことがあるとやっぱりさっきみたいにその論点がわかんなくて混乱するようなことがあると思うので今回もその
2:24:08	キーワードを抽出した方がいいけどそれをどうするかみたいのところ。
2:24:12	抜ける抜けてしまって、結果、
2:24:17	前あったコメントに対して何を
2:24:21	表現しているのかっていうところは、固有名詞だけになってしまったりしていて、それをどう整理するのかっていうところとかは、
2:24:28	抜けたりして、ちょっと不明瞭になったりもしてるので、少し従来のコメントに立ち戻ってちゃんとこれで表現できてるのかっていうところは、しっかり精査した上で、記載してもらいたいんですがいかがですか。
2:24:48	はい。日本原燃高谷でございます。はい。対応方針についてまさに今までの、はいいただいた内容、コメント等も踏まえてやるべきこと。
2:25:00	の、
2:25:01	内容まで明確化するというところでやりたいと思います。その中で、衛藤、やはり作業、ちょっと対応方針の方にも書かせていただいた通り個別具体がどこまで煩雑にならないようにという整理。
2:25:15	私の力量で鈍麻どこまでできるかというところはきちんとみんなで整理し、相談しながら、ちょっとできれば限りはやっていきたいと思います。はい。以上です。

2:25:27	えっとコサクです。ちょっと余りに不安なので、
2:25:34	例示で言うそうですね、2 ページの③、あんまり例違いここがいいかどうかじゃなくて単純に、ここ書いてあるところで上から見て、ピックアップしただけなんですけど、
2:25:47	これ以降ですね、必ず矢印が三つあって、資料 2 では、資料 3 では資料 4 で割って書いてあるんですけど、
2:25:56	この杓子定規に書いてあるものは書く必要ないんですよ。
2:26:00	なんですけど、
2:26:04	資料に溢水評価してるところの、
2:26:07	水源溢水量の設定を含むと言っているようなところがこれだけでもよくわかんないんですけど、
2:26:15	何が
2:26:18	前のコメントであって、何でこれを括弧書きで書く必要があると思ったのかという心を変えて、
2:26:24	くれればいいということだと思います。
2:26:29	同じように資料 3 も、これも
2:26:33	設定 6 た四つのこれそもそも間違いなんですけど、資料 3 で表すのは何かってあるので、そ、
2:26:41	想定破損で何をっていうと想定破損の場所なり何なりがあるのかもしれませんが、
2:26:49	そういったところ何か特記する必要があるればですね、書いていただくということだと思います。そういったところを精査してくださいということだと思って、
2:27:00	資料 2 では資料 3 では資料 4 ではっていう大枠はですね、共通のこととして書いてくれれば、よくて、その中で、それぞれの例示として、
2:27:11	例えばこの中で、想定破損についてはこう考え、配慮します。
2:27:17	で、プールについては、その部分で配慮することがなければ好き。
2:27:23	で、
2:27:25	屋外の溢水量について起こします。
2:27:28	という例示で必要なものを例示をしていく。それによって、これまでのコメントが、この部分で対応されるんだなというのが見えてくると、ということだと思います。
2:27:42	わかりますかね。
2:27:46	はい。日本原燃の高谷でございます。

2:27:49	はい。まさにキー意味がわかるキーワードというところでこの括弧書きのところをきちん例示として、なるように書く。
2:27:59	一方で資料 234 みたいなたてつけみたいなそんな必要ないということで理解をしました。それが煩雑にならないように、できるだけ整理をしたいというふうに思っております。はい。以上でございます。
2:28:20	支店長山口です。
2:28:22	オカ長規制庁側から、この資料についてございますでしょうか。
2:28:31	形は振り返り。
2:28:34	なんですけども、
2:28:40	と振り返りについては、
2:28:44	このままで、すぐにやるか、休憩挟んでやるか、またはできなければ、対応方針は少なくとも等々では何か説明いただく必要あると思うんですけども、
2:28:57	いかがでしょうか。
2:29:00	はい。日本原燃の高井でございます。少し頭の整理をさせていただきたいので、休憩をとらせていただければと思います。
2:29:11	わかりました後、それでは等、
2:29:15	15 班に、
2:29:18	大会で負担頭の整理で休憩挟みたいと思います。
0:00:02	では原燃側から振り返りお願いします。
0:00:07	はい。日本原燃の高谷でございます。本日の振り返りですがまずこの対応方針につきまして、全体を通じてですね 1.11. 21.3 とわけ一しております。
0:00:21	共通時作業の進め方この立て付け後意味合いというところ、あと構成というところがやっぱちょっときちんと私の中でも整理しきれなかったところがあると思っております。
0:00:33	そこにつきまして 1.1 のタスクの中に 1.2、1.3 があることというところや、1.21. 3 というところの、記載すべき内容は、作業の順番から考えて、適切にしていくと。
0:00:48	というようなところで対応方針、全体 11 ポツ全体を修正していきたいというふうに考えております。
0:00:56	その中で今 1.3 と挙げている説明こすべき項目の抽出の考え方につきましては、今記載している内容では作業ができないというところになりますので、口頭でも、口でですね説明がきちんとできていなかった部分、

0:01:13	その作業イメージというところで、例示をしていきたいというふうに考えております。
0:01:20	SANBのに関しましては基本設計方針からきちんと展開をしていくというところで改めて示すということですし、竜巻の方と並行してですね、1セガワの整理というところも進められるようにしていきたいと。
0:01:36	いうふうに考えております。
0:01:38	あと全体の個別に関しましては1から5の個別の内容と、飛び方として書いた個別の6がございます。こちらについても、中身としては、1.2と1.3というところの内容に、
0:01:54	溶け込まして、事前に説明すべきものを明確にご説明をしたいと思っております。そこがスロッシング等、
0:02:04	屋外水源等等、
0:02:08	減容する水漏えい検知器というところのご説明はさせていただこうというふうに思っております。でもモック数での失礼しました管理区域外漏えい等につきましては、その条文の取り合いというところについては教室中にも含めてですね、
0:02:26	全体で整理をしていくという形にしたいというふうに思ってます。あと個別6で備忘録で書いておりますが備忘録で書いている申請書の内記載内容とか、そういうところにつきましても1.1から1.3のところの、
0:02:41	整理の中に溶け込まして、全体を整理する、端的に書くもののキーワードというところ。
0:02:52	がこれまでのコメントも不いただいた内容も含めて、キーワードとして整理して理解ができるように整理をしていきたいというも
0:03:02	状況でございます。はい。こちらがイイダでございます。
0:03:07	船長ヤマグチです。
0:03:10	対応方針の再提出のスケジュールとしては今日、高谷蒔田共通、
0:03:16	昨日ですね、出てきて今日共通中にも出てきたものも、
0:03:20	そちらの整理とも合わせてってということだとは思っているので、
0:03:25	また進め方のヒアリングなりで確認できればと思います。
0:03:30	葛藤規制庁から全体を通して、
0:03:34	ありますでしょうか。
0:03:39	あと、桑川も特によろしいでしょうか。
0:03:44	はい。大丈夫です。
0:03:46	それこれで本日のヒアリングを終了しますので録音で